

委託事業実施内容報告書

平成26年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 【地域日本語教育実践プログラム(B)】

受託団体名 公益財団法人浜松国際交流協会

1. 事業名称 浜松市日本語教育連携推進事業

2. 事業の目的

浜松市では、2013年3月浜松市多文化共生都市ビジョンを策定し、多様性を生かした浜松型の創造都市の実現を目指し取り組みを進めている。同ビジョンの中では、多様な文化を持つ市民が地域で暮らしていくためにはコミュニケーションが不可欠であり、また地域で暮らすための生活言語は日本語であるとの認識から、日本語学習支援の重要性がうたわれている。

(公財)浜松国際交流協会では、浜松市より委託を受け浜松市外国人学習支援センターの運営を2010年の開設以来行っている。学習者のニーズに即した日本語教室が開催できるよう、平成23年度より文化庁の委託を受け、日本語教師のスキルアップや日本語コミュニケーション能力評価基準の開発等を行い、教室内容の改善を行ってきた。また、平成25年度文化庁委託事業として、浜松版日本語コミュニケーション能力評価システム普及事業を行い、その中で地域における主要な日本語学習支援団体と、学習者の日本語能力を評価し教室活動を改善するという観点で議論を深めてきた。

本事業では、地域の日本語学習支援団体とより深く連携し、日本語学習支援に関するノウハウや日本語教室を運営する上での課題を共有するだけでなく、浜松市全体として、生活者としての外国人に必要な日本語教育について検討する。また、より一層充実した日本語教育環境を整備するために、行政と市民団体との効果的な連携についても併せて検討する。

3. 事業内容の概要

平成25年度文化庁事業で行った日本語コミュニケーション能力評価基準普及事業の中で日本語教室活動の内容について意見交換をしてきた団体を中心に、外国人コミュニティリーダー等にも参画を呼びかけ、浜松市日本語教育推進会議を行う。それぞれの現場や地域で起こっている課題や外国人市民の現状を共有し、浜松市全域の日本語教育体制について議論を深める。

また、あがった課題やニーズについて検討し、浜松市全域における日本語教育体制を見据えながら、それら課題の解決の一助となる日本語教室の立ち上げを企画する。手始めに、日本語教育を体系的に学習する機会がないまま永住化が進んできた外国人に対する効果的な日本語教室の必要性が課題としてあげられていることから、課題に対応した日本語教室の設置運営を行う。また、実施した教室活動を浜松市日本語教育推進会議で振り返り、改善を行う。社会的ニーズと教室運営のための課題を意識しながら、柔軟に日本語教室を設置運営し、またその教室の効果を検証することによって、市全域の日本語教育体制に必要な連携のあり方を検討する。

さらに、これら取り組みの成果発表の場として、シンポジウムを開催する。シンポジウムは、浜松市日本語教育推進会議のメンバーを中心とした実行委員会形式で行い、シンポジウムの企画運営から開催を通じて団体間の連携を深める。また、パネルディスカッションを通じて日本語教育の必要性を広く呼びかける機会とする。

4. 運営委員会の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成26年5月19日(月) 14:00~16:00	2時間	浜松市多文化共生センター	嶋田和子 石塚良明 加藤庸子 河合世津美 白井えり子 村田和彦	・事業計画について ・日本語教室開催について	浜松市日本語教育推進会議、生活者としての外国人のための日本語教室の開催、日本語教育シンポジウムの3つの取り組みを行う。日本語教育シンポジウムは実行委員会形式で行う。浜松市日本語教育推進会議と日本語教育シンポジウム実行委員会には、市内で活動を行う日本語学習支援団体に参加を呼びかけ、市全域の日本語教育体制整備に必要な連携のあり方を検討する。 永住化が進む外国人に必要な日本語教育を検討する。

2	平成26年10月24日(金) 15:00~17:00	2時間	浜松市多文化共生センター	嶋田和子 石塚良明 加藤庸子 河合世津美 白井えり子 村田和彦	<ul style="list-style-type: none"> ・第1期土AM日本語教室(新規)報告、第2期水夜仕事で使える日本語教室(ジャボラNPO協力について) ・第1期、第2期日AM日本語教室(にほんごNPO協力)について ・浜松市日本語教育推進会議、シンポジウム実行委員会について 	<p>・どの曜日でも日本語を学べるように、土AMに新規で日本語教室を立ち上げた。また、U-ToCで開発した漢字テキストを使い、漢字学習の機会を増やしたことの報告。教室のレベル設定の違いがわかりにくい等の課題があがった。 労働者が教室に通いやすいと思われる夜の教室を新設し、ニーズを探ることについての確認を行った。</p> <p>・本事業で行う日曜AM教室は、平日の屋間に開講しているU-ToCの教室と内容の連携ができるかを探るための教室と位置づけ試行した。学習者の出入りが激しく、毎週クラスの人数が大きく変動すること、教師が足りずコーディネーターが兼任する場合は、新規学習者への対応ができないこと、レベル間のすりあわせが足りず学習効果が見えにくい等の課題があがった。また、どちらの教室も、学習者個票を正確にとり、学習ニーズや兆候を探ることが必要との指摘があがった。</p> <p>・永住化が進む南米系外国人が日本語教室に来ていないことについて議論が必要。技能実習生の日本語学習についても国が責任の所在を明確にして対応していく必要があるだろう。労働者の監督先である企業に対して国がきちんと指導してほしい。</p> <p>・実行委員会において、フォト・ストーリーリングを提案した。テーマを決めること、発表者の募集方法について検討するよう指摘があがった。</p>
3	平成27年3月27日(月) 15:00~17:00	2時間	浜松市多文化共生センター	嶋田和子 石塚良明 加藤庸子 河合世津美 白井えり子 村田和彦	<ul style="list-style-type: none"> ・第2期水夜仕事で使える日本語教室(ジャボラNPO協力)報告 ・第2期日AM日本語教室(にほんごNPO協力)報告 ・浜松市日本語教育推進会議、シンポジウム実行委員会報告 ・写真で語る私の歴史～これまでの私とこれからの私～報告 ・今年度事業成果と課題について、来年度計画について 	<p>・水夜教室は、学習者数が減少し費用対効果のあがらない教室となった。内容、設定等を再検討する必要がある。また、NPOに所属する日本語教師の方々と、主催者側がコミュニケーションを蜜にとる必要があがった。</p> <p>・日AM教室では、第1期の課題を改善しながら行った。特に、コーディネーターが授業を担当しないことにより、新規学習者の受入の流れが整った。しかし、慢性的な日本語教師不足は変わらず、レベル間のすり合わせや情報共有、研修等の時間が持たなかった。また、アンケート結果より、他の教師の授業を見学したい、研修を受けたい等の意見があがったことから、団体間の今後の連携を併せて検討することが必要である。</p> <p>・各団体における課題の中でも人材不足が多くあがり、今後も互いに協力していく必要があることを確認した。</p> <p>・イベント「写真で語る私の歴史」について、来場者も多く、またアンケート結果も好評だったことから、高い評価をいただいた。イベントを継続して行えるよう体制について検討する必要がある。</p> <p>・本年度事業をふまえ、地域日本語教室の情報共有化をよりいっそう進めることが大切だという意見があがった。また、日本語教師の人材育成が急務であるとの認識を共有し、対応策の検討が必要であることを確認した。</p>

5. 取組についての報告

○取組1：浜松市日本語教育推進会議

(1) 体制整備に向けた取組の目標

それぞれの現場や地域で起こっている課題、外国人市民の現状を明示化し共有する。それらを踏まえたうえで、浜松市全域の日本語教育体制について検討する。あがった課題の解決の一助となる日本語教室を設置運営し、またその教室の効果についても検証を行ない、市全域の日本語教育体制に必要な連携の在り方を検討する。

(2) 取組内容

平成25年度文化庁事業で行なった浜松版日本語コミュニケーション能力評価普及事業の中で、日本語教室活動の内容について意見交換をしてきた団体を中心に、外国人コミュニティリーダー等にも参画を呼びかけ、浜松市日本語教育推進会議を行う。

あがった課題やニーズについて検討し、浜松市全域における日本語教育体制を見据えながら、それら課題の解決の一助となる日本語教室の立ち上げを企画する。また、実施した教室の振り返りや改善を行なう。

社会的ニーズと教室運営のための課題を意識しながら柔軟に日本語教室を設置運営し、またその教室の効果を検証することによって、市全域の日本語教育体制に必要な連携の在り方を検討する。

(3) 対象者

浜松市内日本語学習支援団体関係者

(4) 参加者の総数7人

出身・国籍別内訳

中国	1人	インドネシア	人
韓国	人	タイ	人
ブラジル	1人	ペルー	人
ベトナム	人	フィリピン	人
ネパール	人	日本	5人

(5) 開催時間数(回数) 4.5時間 (全3回)

(6) 取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名
1	平成26年 5月30日 (金)14:00 ~15:30	1.5時間	浜松市多文化 共生センター	6人		第1回浜松市 日本語教育 推進会議	・コミュニティについて ・日本語について ・日本語教室について	出席者 加藤庸子(にほんごNPO) 河合世津美(ジャボランNPO) 松葉優子(With U-Net) 趙驕陽(中国文化交流会) 西崎稔(静岡県ベトナム人協会) 藤井ロドリゴ(NPOブラジル文化振興会)
2	平成26年 9月22日 (月)14:00 ~15:30	1.5時間	浜松市多文化 共生センター	7人		第2回浜松市 日本語教育 推進会議	・上半期日本語教室について ・下半期日本語教室予定について	出席者 加藤庸子(にほんごNPO) 河合世津美(ジャボランNPO) 松葉優子(With U-Net) 趙驕陽(中国文化交流会) 西崎稔(静岡県ベトナム人協会) 藤井ロドリゴ(NPOブラジル文化振興会) 山浦優子(NPOフィリピノナガイサ)
3	平成26年 12月8日 (月)14:00 ~15:30	1.5時間	浜松市多文化 共生センター	7人		第3回浜松市 日本語教育 推進会議	・日本語教室について(現状) ・来年度の予定と展望	出席者 加藤庸子(にほんごNPO) 河合世津美(ジャボランNPO) 松葉優子(With U-Net) 趙驕陽(中国文化交流会) 西崎稔(静岡県ベトナム人協会) 藤井ロドリゴ(NPOブラジル文化振興会) 山浦優子(NPOフィリピノナガイサ)

(7) 参加者の募集方法

地域で日本語学習支援を行なっている市民団体および外国人コミュニティグループ等に参加を呼びかけた。

(8) 特徴的な活動風景(2~3回分)



(9) 取組の目標の達成状況・成果

それぞれの団体の理念や思い、日本語教室の目的等を直接知ることができたのは大きな成果である。特に、外国人コミュニティが主催する日本語教室に求められている機能やそこに通う学習者のニーズは、担当者から詳しく話を聞くまでは知りえなかった情報である。

また、体制の問題についても明らかになってきたことも成果といえる。団体内で解決することと、社会的課題として、中間支援組織である当協会が行政との間に立って取り組むべきことが見えてきたのは大きな収穫である。

(10) 改善点について

浜松市は外国人が集住する土地柄もあり、市内の多くの団体が文化庁の「生活者としての外国人」のための日本語教育事業を受託しているが、特に養成講座事業に関しては開催時期や場所が重なるため、集客が難しいという意見があがった。また、日本語教室の有料化についても、体制を維持するために有料化は必要だという声と学習者のニーズ(無料)が合わず困っているという話題があがった。

以上の様な具体的な課題の共有や、解決策の検討は、本会議でできた成果である。情報共有を進めるためには、顔をあわせて話す機会を設けることが、古くて新しい一番の方法だということがわかったので、来年度以降も、継続していきたい。

○取組2:生活者としての外国人のための日本語教室

(1) 体制整備に向けた取組の目標

浜松市に在住する外国人市民の多くが体系的に日本語を学習する機会がないまま永住化が進んでおり、日本語技能のアンバランスさが社会参加の足かせの一つとなっていることを踏まえ、彼らが日本語教室に参加しやすい環境を整備するとともに、永住化が進む彼らに必要な日本語教育の在り方を検討する。

(2) 取組内容

地域日本語学習支援団体と連携し、これまでの日本語教室の課題、ノウハウを共有し、地域の課題に即した日本語教室を運営する。

とりわけ、浜松市に住む外国人市民の多くが体系的に日本語を学習する機会がないまま永住化が進んでおり、日本語技能のアンバランスさが社会参加の足かせの一つとなっていることがわかってきたので、その課題に対応した日本語教室の設置運営を行う。その際、開催日時、場所、指導内容を講師とコーディネーターとで十分に検討し実施する。

- ・第1期日AM日本語教室(にほんごNPO協力)
- ・第2期日AM日本語教室(にほんごNPO協力)
- ・土AM日本語教室(ジャボラNPO協力)
- ・水夜日本語教室(仕事のための日本語教室)(ジャボラNPO協力)

(3) 対象者 生活者としての外国人

(4) 参加者の総数 287人

出身・国籍別内訳

中国	26人	インドネシア	63人	インド10人、アメリカ9人、イギリス5人、ニュージーランド3人、ポーランド1人、ドイツ1人、カナダ1人、台湾1人、パラグアイ1人、ホンジュラス1人、マレーシア1人
韓国	11人	タイ	5人	
ブラジル	42人	ペルー	23人	
ベトナム	45人	フィリピン	30人	
ネパール	8人	日本	人	

(5) 開催時間数(回数) 510時間 (全278回)

(6) 取組の具体的内容

第1期日曜AM教室(会話1)

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師氏名	補助者氏名
1	平成26年4月13日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	14人	中国(7人)、ブラジル(1人)、ペルー(2人)、インドネシア(1人)、フィリピン(1人)、アメリカ(1人)、ニュージーランド(1人)	ディクテーションテスト 自己紹介 名札作り	初対面のあいさつを交わし、実践の中で、正しい言い方を教える。 画用紙でどのように名札を作るか、説明しながらやって見せ、言葉と動作が結びつくように教えた後、ペアで練習してもらおう。	加藤庸子(にほんごNPO)	都甲佐知子(にほんごNPO)
2	平成26年4月20日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	11人	中国(6人)、ブラジル(1人)、ペルー(2人)、インドネシア(1人)、アメリカ(1人)、ニュージーランド(1人)	先週のディクテーションテストの答え合わせ 「あした何をしますか」	具体物を見せたり、実際にやって見たりして、言葉と意味(指し示す物・動作)の結び付きを図る。 カレンダーを用いて日付が言えるか確認する。Tが昨日したことを言い、Sに「～さんは、昨日何をしましたか」と尋ねる。一通り会話をした後、明日、何をするか、そしてゴールデンウィークに何をするかについて会話する。	加藤庸子(にほんごNPO)	
3	平成26年5月11日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	9人	中国(3人)、ブラジル(1人)、ペルー(2人)、インドネシア(1人)、アメリカ(1人)、インド(1人)	「何をしましたか」 「どうでしたか」	インド出身のMさんが初参加。簡単に自己紹介。 地図で各国の位置を確認しながら、「遠い」「近い」「東西南北」の言い方を練習。 浜松祭りの写真を見せ「見ましたか」と一通り聞いた後、GWIにしたことについて簡単なQ&A。 5人の登場人物のしたこと、思ったことを確認後、聞き取りクイズ。⇒答え合わせ。重要表現の振り返り。	加藤庸子(にほんごNPO)	
4	平成26年5月18日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	11人	中国(4人)、ブラジル(1人)、ペルー(2人)、インドネシア(1人)、アメリカ(2人)、インド(1人)	「何が好きですか」 「何を飲みたいですか」	ブッフレストランの写真を見て分かったことを話す。 各レストランの場所を確認。東西南北、「歩いて～分」、値段の言い方練習。 「私は～が好きです」「私は2番目に～が好きです」の表現を使いながら、野菜、果物、肉、魚のランキング。 レストランでのダイアログを聞いた後、ダイアログを読み、新出表現の意味を確認する。 ペアで会話練習。飲み物編も同様に練習する。	加藤庸子(にほんごNPO)	都甲佐知子(にほんごNPO)
5	平成26年5月25日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	11人	中国(4人)、ブラジル(1人)、ペルー(2人)、インドネシア(1人)、アメリカ(1人)、インド(1人)、イギリス(1人)	「休みたいです」	半袖、長そでという言い方と脱着動詞の練習。 病気の人のイラストをボードに貼り、「病気の導入。会社に行きますかと問いかけ、「行きたくない」「休みたい」という表現を引き出す。会社に電話をするという場面を設定し、トライしてもらおう。 「頭/歯/お腹が痛い」「気持ちが悪い」「熱がある」等の症状の言い方、休みの連絡のし方を確認後、練習。 ペアで練習後、上手にできたペアに発表してもら	加藤庸子(にほんごNPO)	
6	平成26年6月1日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	10人	中国(2人)、ブラジル(1人)、ペルー(2人)、インドネシア(2人)、アメリカ(1人)、インド(1人)、イギリス(1人)	「じょうずですね」	歌のイラストを示しながら、歌の好きなSを指し「Sさんが歌を歌いました」と状況を設定、「Sさん、歌が上手ですね」と言い、「Sさんは歌が上手です」という文型と、「どこで習いましたか」「毎日、練習しますか」など関連する表現も導入する。料理、ダンス、運転、字などもイラストで導入し、Sからのアウトプットを引き出す。 ダイアログを聞かせた後、ペア練習。さらに、家族の呼称を導入し、家族の得意なことと言えるように練習する。	加藤庸子(にほんごNPO)	
7	平成26年6月8日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	10人	中国(3人)、ブラジル(1人)、ペルー(2人)、インドネシア(1人)、アメリカ(2人)、インド(1人)	「家族」	自分の家族、相手の家族の言い方を復習する。 個別に人物カードを並べて家族を構成し、ペアで練習する。 ダイアログをTの後について読んだ後、語彙の確認をし、ペアで練習する。 写真を見せながら家族を紹介したり、相手の家族をほめたりする言い方を導入後、ペアで練習する。	加藤庸子(にほんごNPO)	
8	平成26年6月15日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	9人	中国(5人)、ブラジル(1人)、アメリカ(1人)、インド(1人)、韓国(1人)	「貸してください」	対教師で、家族の呼称の復習をする。「お父さんはお元気ですか」「はい、元気です」 導入：消しゴムがない振りをし、ジェスチャーをしながらSに「貸してください」と言い、消しゴムを借りる。一連の動作を絵カードを使って振り返り、板書する。コーラスで発音練習をする。レアリアを使い、「書くもの」「辞書」「セロテープ」など借りる機会の多いもの名前を確認し、入れ換え練習。レアリアを使いペア練習。 「手伝う」「取る」「待つ」「書く」などで拡大練習をする。	加藤庸子(にほんごNPO)	

9	平成26年6月22日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	10人	中国(4人)、ブラジル(1人)、ペルー(2人)、アメリカ(2人)、韓国(1人)	「ありがとう」	<p>カレンダーを見ながら、日付け&「きょう」「きのう」「あした」の言い方の確認後、教室のスケジュールを共有。</p> <p>「貸す」「借りる」「返す」の意味の復習とテ形の練習。</p> <p>会話1の導入：傘を返す場面を提示し、やって見せる。</p> <p>語句・表現の意味確認後、発音練習をする。</p> <p>会話2の導入。</p> <p>語句・表現の意味確認後、活用練習をする。</p> <p>会話1&2をペアで練習する。</p>	加藤庸子(にほんごNPO)	
10	平成26年6月29日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	12人	中国(4人)、ブラジル(1人)、ペルー(2人)、アメリカ(1人)、フィリピン(3人)、インド(1人)	「ちよっと休みませんか」	<p>喫茶店のイラストを見ながら、喫茶店でいつものものを飲むのか話す。</p> <p>場面1を提示し、勧誘と応答の会話を導入。語彙や表現の理解を確認する。会話の読み練習の後、T対Sでロールプレイ。次にペアで練習。</p> <p>「12時です。お腹がすきました」と場面2を提示。場面を共通理解した後、食事に誘う、誘いを受ける、断るときの表現を確認する。</p> <p>最後にペアで練習し、ワークシートに書きこむ。</p>	加藤庸子(にほんごNPO)	
11	平成26年7月13日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	13人	中国(2人)、ブラジル(1人)、ペルー(3人)、アメリカ(2人)、フィリピン(4人)、インド(1人)	「すみません。遅れます」	<p>バスに乗り遅れた女性のイラストを見せ、話し合う。</p> <p>「乗り遅れる」という言い方・文型を確認する。</p> <p>一人ひとりのSに、どうやって教室にきたか尋ねる。</p> <p>約束をした時間に遅れるという状況を共有し、会話を聞いてもらう。</p> <p>相手への謝罪の方法を確認する。</p> <p>重要語句の共通理解をした後、ペアで練習する。</p> <p>遅刻のさまざまな理由を考え、入れ換え練習をする。</p> <p>ペアで練習する。</p>	加藤庸子(にほんごNPO)	
12	平成26年7月20日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	12人	中国(2人)、ブラジル(1人)、ペルー(3人)、フィリピン(4人)、インド(1人)、インドネシア(1人)	「遅くなつてすみません」	<p>先週の復習&語彙の確認(約束、遅れる、会う、行く、帰る、謝る)をする</p> <p>場面1(会社)を提示し、どのように謝ればいいのか考え、共通理解する。場面2(友達との待ち合わせ)、場面3(帰宅場面)も同様にする。</p> <p>謝罪された場合の対応の仕方について考え、共通理解する。</p> <p>ワークシートを見てそれぞれの表現を確認し、発音練習をする。</p> <p>ペアで練習する。</p>	加藤庸子(にほんごNPO)	
13	平成26年7月27日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	8人	中国(3人)、ペルー(1人)、フィリピン(1人)、インド(1人)、インドネシア(1人)、アメリカ(1人)	「パーティーで初めて出会った人と」	<p>夏休みの計画について質疑応答。</p> <p>パーティーのイラストを見せ、場面を共有する。</p> <p>会話を聞かせた後、内容について質問をし、キーワードとその意味を確認する。</p> <p>会話文の音読をする。</p> <p>パーティーの場面を設定し、それぞれの学習者と出身地や趣味について会話をし、出身地を説明する方法に気付かせる。</p> <p>椅子から離れ、自由にパーティー場面での会話をを行う。</p>	加藤庸子(にほんごNPO)	
14	平成26年9月7日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	11人	中国(1人)、フィリピン(3人)、インド(1人)、インドネシア(1人)、アメリカ(2人)、ベトナム(2人)、ブラジル(1人)	「旅行」	<p>自転車で北海道まで旅行した人の写真を見せ、会話を引き出す。</p> <p>日本各地の地名や特徴を表す文型「北海道は食べ物おいしいです」を、写真を見ながら確認し、Tの後についてリピートする。</p> <p>いろいろな手段で日本各地に行った例を示し、「(手段)で、(場所)に行きました」の文型を確認した後、Tの後についてリピートする。</p> <p>会話を聞いてクイズに答える。</p> <p>ペアで応用会話をやる。</p>	加藤庸子(にほんごNPO)	
15	平成26年9月14日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	10人	フィリピン(3人)、インド(1人)、アメリカ(1人)、ベトナム(2人)、ペルー(3人)	「病院に行く」	<p>病気の人のイラストを示し、病気のいろいろな症状を共有する。</p> <p>プリントを配布し、病院の受付を想定した会話をしたのち、それぞれの母語の「問診票」を渡し、書いてもらう。</p> <p>医者と患者の会話を聞く。Tの質問に答える。</p> <p>Tの後について会話文を読みながら、語彙や表現の意味を確認する。</p> <p>ペアで会話練習をする。</p> <p>重要表現を振り返る。</p>	加藤庸子(にほんごNPO)	

16	平成26年9月21日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	10人	フィリピン(3人)、インド(1人)、アメリカ(1人)、ベトナム(1人)、ペルー(3人)、ブラジル(1人)	「けが、やけど、捻挫」	<p>包帯をし、三角巾で腕を吊って登場し、Sから反応を引き出す。Sの発話を板書し、「どうしましたか」「けが」「病院」などの言葉を共有する。</p> <p>けがをした状況をゆっくり話し、板書する。「転ぶ」「折れる」など、動詞の活用を確認する。</p> <p>語彙表で、「どうした」「いつ」「どこを」「どこで」「どうして」に関する語を読み、意味を掴ませる。</p> <p>会話文を聞かせ、内容について質問する。</p> <p>ペアでロールプレイをする。(会話文に沿って行った後、語を入れ替えて練習するよう促す)</p> <p>皆の前で発表する。</p>	加藤庸子(にほんごNPO)	
17	平成26年9月28日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	44人	インド(2人)、インドネシア(10人)、韓国(1人)、中国(3人)、ネパール(1人)、パラグアイ(1人)、フィリピン(2人)、ブラジル(8人)、ベトナム(10人)、ペルー(6人)	全体集会	<ul style="list-style-type: none"> ・前期の振り返りとしてアンケートに答える。 ・全体でグループに分かれてゲームを行う。(福笑い) ・前期の出席率80%以上の学習者への表彰。 ・後期の案内。 	加藤庸子(にほんごNPO)	

第1期日曜AM教室(会話2)

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師氏名	補助者氏名
1	平成26年4月13日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	12人	インドネシア(8人)、 インド(1人)、ペルー(1人)、中国(1人)	自己紹介	自己紹介の時にどんな話題が出るか(趣味や住んでいる場所など)、それをどのように表現したらいいか、クラスの中で話したあと、実際に自己紹介し、その表現をまとめる。 日本で経験したことや日本語学習の理由などの簡単な質問をペアワークで話し、発表する。	門奈礼子(にほんごNPO)	
2	平成26年4月20日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	10人	インドネシア(8人)、 インド(1人)、中国(1人)	電話で欠席の連絡をする	日本語教室を欠席するので、教師に携帯電話で連絡をするという設定で会話を作ってもらい、その後電話を掛けるときの表現と休みを求めるときの表現をまとめる。日本での携帯電話使用のマナーを話し合う。	門奈礼子(にほんごNPO)	
3	平成26年5月11日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	9人	インドネシア(6人)、 インド(1人)、中国(1人)、タイ(1人)	親しくない人を遊びに誘う、誘いを受ける、断る	まだ知り合ったばかりの友だち(たとえばクラスの人)を遊びに誘う設定。どこへ行き、何をするのか考えてもらい、それを会話にする。また、誘いを受けるときと断るときに何と何を考えてもらう。	門奈礼子(にほんごNPO)	
4	平成26年5月18日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	10人	インドネシア(7人)、 インド(1人)、中国(1人)、タイ(1人)	わたしの部屋、インテリアショップへ買い物に行く	自分の部屋にある家具の配置を絵に描いて発表する。ほかに何が欲しいか考える。家具の大きさを「このくらい」を使って表現する。インテリアショップで店員に欲しい家具を伝える。	門奈礼子(にほんごNPO)	
5	平成26年5月25日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	13人	インドネシア(8人)、 インド(1人)、中国(1人)、タイ(1人)、 ベトナム(1人)、フィリピン(1人)	わたしの町	3枚の写真(京都、新宿、三ヶ日)を見て、どんな町か話し合う。浜松について、どんな町かを形容詞であらわす。形容詞で形接続を導入して、ワークシートで練習をする。会話のスキriptをペアワークで練習し、自分が国で住んでいた町についての会話を作る。	門奈礼子(にほんごNPO)	
6	平成26年6月1日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	10人	インドネシア(7人)、 インド(1人)、タイ(1人)、 フィリピン(1人)	わたしの一日	朝起きてからどんなことをするか、学習者に挙げてもらおう。動詞で形接続を導入し、自分の朝の行動で形接続で言ってもらおう。 休みの一日は何をして過ごすか、ワークシートに記入し、それを発表してもらおう。 最後に、日本語教室のあと、みんなで遊びに行く想定で、どこにいくか、グループで相談して決めてもらい、て形接続を使った会話をつくってもらおう。	門奈礼子(にほんごNPO)	
7	平成26年6月8日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	8人	インドネシア(7人)、 タイ(1人)	郵便局で国へ荷物を送る	日本での父の日、母の日を紹介し、今まで両親にどんなプレゼントをあげたことがあるかを話す。両親にプレゼントを贈るという設定で、何を贈るか考えて、郵便局へ持っていき、郵送の方法などを選び、国際郵便を送る。	門奈礼子(にほんごNPO)	
8	平成26年6月15日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	11人	インドネシア(6人)、 インド(1人)、タイ(1人)、 中国(1人)、ベトナム(1人)、 韓国(1人)	健康に暮らすために	健康に良い事悪い事について話をする。体調が悪い時、自国ではどのような直し方があるか紹介する。具合の悪そうな人に心配して声をかける場面で会話をする。	門奈礼子(にほんごNPO)	
9	平成26年6月22日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	9人	インドネシア(4人)、 タイ(1人)ベトナム(1人)、 韓国(3人)	職業と適性	小学生との時になりたかった職業、自国で人気のある職業などの話題で会話し、「自分の店を開店する」設定で、どんな店にし、どんな人に働いてほしいかを発表する。	門奈礼子(にほんごNPO)	

10	平成26年6月29日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	10人	インドネシア(3人)、中国(1人)、タイ(1人)、インド(1人)、ベトナム(1人)、韓国(3人)	飲食店で注文をする	会社の同僚を誘ってビアガーデンに行き、ビールなどを注文する場面の7コマ漫画に台詞を付けていく。今日の文法「N1とN2とどちらが～」「どれ」を導入し、練習する。ワークシートの絵を見ながら、スクリプトを完成させながら、会話練習する。最初に作ったマンガのセリフも再度、練習する。	門奈礼子(にほんごNPO)	
11	平成26年7月13日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	5人	インドネシア(3人)、インド(1人)、韓国(1人)	日常のあいさつ	日常使う挨拶語について、ワークシートの一日のストーリーを見ながら考え、その意味や丁寧さについてなどを理解する。	門奈礼子(にほんごNPO)	
12	平成26年7月20日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	7人	インドネシア(1人)、タイ(1人)、韓国(1人)インド(1人)、ベトナム(2人)、中国(1人)	洋服を買う	洋服を店で買う場面をロールプレイしてもらい、試着の申し出やサイズや色デザインの変更依頼の表現が出てきたら、板書する。ワークシートで文型の練習をして、口頭練習する。最後に再度勉強した文型を使ってロールプレイする。広告を見ながら、「税込」などの言葉を理解する。	門奈礼子(にほんごNPO)	
13	平成26年7月27日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	7人	インドネシア(1人)、タイ(1人)、韓国(1人)インド(1人)、ベトナム(2人)、中国(1人)	電化製品を買う	電化製品の広告を見ながら、何が欲しいか、税込価格はいくらかなど話し合う。いきなりロールプレイで電化製品を買う場面をやって、取り上げるべき言葉などを板書して解説する。デジカメを買う設定で、どんなことを言ったらいいか、ワークシートをもとに考えて進める。最後に再度ロールプレイをする。	門奈礼子(にほんごNPO)	
14	平成26年9月7日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	12人	インドネシア(1人)、タイ(1人)、韓国(2人)インド(1人)、ベトナム(5人)、中国(2人)	夏休みの思い出日本の歌	夏休みにやったこと、いったところ、などについて、3分程度のスピーチをしてもらう。そのスピーチについて、学習者から質問を1つ出してもらう。教師は適宜誤用などを指摘する。	門奈礼子(にほんごNPO)	
15	平成26年9月14日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	11人	インドネシア(4人)、ベトナム(5人)、中国(1人)、ペルー(1人)	道順の説明	初対面の人などに、どこに住んでいるか聞かれたときどう答えるか、市区町名を言えるか、目印になるような建物施設を言えるか、確認する。最寄り駅から最寄りのバス停から、協働センターまでの道順を説明できるようにする。語彙を導入した後、実際に歩いてみて、説明の仕方を習得する。最終的には、電話で自宅の場所を説明できるようにしたいので、次回は、近くの目印になるような施設から自宅までの道順を説明する練習をする。	門奈礼子(にほんごNPO)	
16	平成26年9月21日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	10人	インドネシア(1人)、ベトナム(4人)、中国(1人)、ペルー(1人)、韓国(1人)、インド(2人)	自宅の場所を説明する 119番に電話する	先週の道順説明を復習し、自宅の場所を説明する練習をする。自宅のキッチンが火事になった設定で、119番に通報する。その際に、氏名住所と自宅の近くに何かがあるかを答えられるよう練習する。	門奈礼子(にほんごNPO)	中島さくら
17	平成26年9月28日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	44人	インド(2人)、インドネシア(10人)、韓国(1人)、中国(3人)、ネパール(1人)、パラグアイ(1人)、フィリピン(2人)、ブラジル(8人)、ベトナム(10人)、ペルー(6人)	全体集会	・前期の振り返りとしてアンケートに答える。 ・全体でグループに分かれてゲームを行う。(福笑い) ・前期の出席率80%以上の学習者への表彰。 ・後期の案内。	門奈礼子(にほんごNPO)	

第1期日曜AM教室(会話3)

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師氏名	補助者氏名
1	平成26年4月13日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	10人	フィリピン(1)中国(1) ペルー(1)ブラジル(1) インドネシア(5)インド(1)	はじめまして～他者に質問する～	出身、趣味、好きな○○、きれいな○○、質問を全体で統一し、全体練習後、ペアで聞きあう⇒会話を広げる、相手を変えて、数回言い、ワークシートに記入	松浦圭子(にほんごNPO)	池谷日都美(にほんごNPO)
2	平成26年4月20日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	7人	フィリピン(2)中国(1) ブラジル(1)インドネシア(3)	ゴールデンウィークの予定	ゴールデンウィークの予定を発表する。→質問の仕方を確認。→ペアワークで会話練習およびワークシートへ記入。(ペアを変えて2回)→質問をした人の予定を発表する。	池谷日都美(にほんごNPO)	
3	平成26年5月3日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	8人	インドネシア(3) フィリピン(2)中国(1) ブラジル(1)	母の日	母の日にどんなものをあげるか、どんなものをもらうか。日本の習慣、自国の習慣を話し、関連語彙を学習し、母の日になにをあげたか、なにをしたか、会話の練習、発展、発表	松浦圭子(にほんごNPO)	
4	平成26年5月18日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	10人	インドネシア(4) フィリピン(2)中国(3) ブラジル(1)	わたしの町	住んでいるところ、生まれたところ、育った町について説明をする、「どんな」を使って他の人に質問し、会話を発展させる。併せて、形容詞、名詞、動詞の接続も学習し、より長く説明ができるように実践。	松浦圭子(にほんごNPO)	
5	平成26年5月25日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	12人	インドネシア(4) フィリピン(2)中国(2) ブラジル(3)ペルー(1)	どういう意味?	生活の中で、分からないことばを聞いたときの会話を実践練習。意味を尋ね、効果的な説明が受けられるように質問をする。また、感謝し、理解度を示す返事の表現を練習する。	松浦圭子(にほんごNPO)	池谷日都美(にほんごNPO)
6	平成26年6月1日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	8人	インドネシア(2) フィリピン(2)中国(2) ブラジル(2)	どんなところですか	写真を見て、いろいろな質問を考える。自分の行ったことがある場所について、質問に答え、どんなところか説明をする。相手に勧める表現を学ぶ。	池谷日都美(にほんごNPO)	松浦圭子(にほんごNPO)
7	平成26年6月8日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	11人	インドネシア(4) フィリピン(1)中国(4) ブラジル(1)台湾(1)	何が使われていますか	食べられないものが料理に入っているかどうか確認する言い方を考える。受け身形の作り方を学ぶ。	池谷日都美(にほんごNPO)	松浦圭子(にほんごNPO)
8	平成26年6月15日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	11人	インドネシア(3) フィリピン(1)中国(5) 台湾(1)韓国(1)	父の日	自国の父の日について話す。家族の呼称を学ぶ。	池谷日都美(にほんごNPO)	
9	平成26年6月22日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	15人	インドネシア(1) ペルー(2)ブラジル(3) 中国(4)韓国(1) フィリピン(2)台湾(1) マレーシア(1)	ワールドカップ	自分の興味があることを説明する。他者に質問することができる。「好きです、嫌いです」以外の表現を学ぶ。	松浦圭子(にほんごNPO)	池谷日都美(にほんごNPO)
10	平成26年6月29日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	7人	インドネシア(1) ブラジル(1) 中国(2)韓国(1) フィリピン(1)台湾(1)	買い物での返品、交換	交換や返品をしたい時に、店員に丁寧な言葉で伝えられる。	池谷日都美(にほんごNPO)	
11	平成26年7月13日 9:50～12:00	2時間		休み					
12	平成26年7月20日 9:50～12:00	2時間		休み					
13	平成26年7月27日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	2人	ブラジル(1) 中国(1)	身につけるもの	身につけているものから、人の外見を説明できる。集団の中でどの人がわからないときに特定できる表現を学習する。	松浦圭子(にほんごNPO)	
14	平成26年9月7日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	8人	ブラジル(1)中国(1) インドネシア(3) ベトナム(2)パラグアイ(1)	夏休み「～へいって来ました」	夏休みの経験を話す。「行きました」等単純な表現から「～へ行って来ました」など少しずつ発話をより自然な会話へつなげる学習者間で応答練習	松浦圭子(にほんごNPO)	
15	平成26年9月14日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	11人	ブラジル(2)中国(1) インドネシア(2)韓国(1) ベトナム(4)パラグアイ(1)	敬老の日 過去、現在、未来の私	過去の経験、未来の予定、短文を作成後、かたまりで話す。～したいです、～つもりです、～ようと思っています、～ます、表現の違いを知り、自分の意思に合う言い方で発話してみる	松浦圭子(にほんごNPO)	
16	平成26年9月21日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	8人	ブラジル(2)中国(2) インドネシア(1) ベトナム(2)パラグアイ(1)	何て言えばいいですか いろいろな場面でのあいさつ	おいおい、おれい、おみまい、おわかれ、などいろいろな場面で適切な言い回しであいさつができるように練習	松浦圭子(にほんごNPO)	

17	平成26年9月28日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	44人	インド(2人)、インドネシア(10人)、韓国(1人)、中国(3人)、ネパール(1人)、パラグアイ(1人)、フィリピン(2人)、ブラジル(8人)、ベトナム(10人)、ペルー(6人)	全体集会	<ul style="list-style-type: none"> ・前期の振り返りとしてアンケートに答える。 ・全体でグループに分かれてゲームを行う。(福笑い) ・前期の出席率80%以上の学習者への表彰。 ・後期の案内。 	松浦圭子(にほんごNPO)
----	--------------------------	-----	----------	-----	---	------	--	---------------

第1期日曜AM教室(会話4)

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師氏名	補助者氏名
1	平成26年4月13日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	11人	フィリピン(4人)、インドネシア(3人)、ペルー(2人)、マレーシア(1人)、ブラジル(1人)	他己紹介・語彙力の確認	知人を他人に紹介する方法を教える。紹介カテゴリーを考えてもらい、口頭での紹介の仕方を練習し、実践する。相手に対して質問する時の方法を確認し、実践する。語彙力をプリントを解答してもらい確認する。	太田 瑠璃子(にほんごNPO)	
2	平成26年4月20日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	9人	フィリピン(2人)、インドネシア(2人)、ペルー(1人)、マレーシア(1人)、ブラジル(2人)、中国(1人)	日本語の電話表現に慣れる	ディクテーション(電話応対)で導入し、丁寧な電話表現を学ぶ。知っている電話表現や電話に関連する言葉を確認する。ロールカードで会話練習をする。	古田さと子(にほんごNPO)	
3	平成26年5月11日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	7人	フィリピン(1人)、マレーシア(1人)、ペルー(2人)、ブラジル(3人)	消費税	消費税増税に伴いスーパー等でよく見られるチラシを読み、理解する。会話練習として価格表示がない商品について値段を聞き、税別か税込か確認する。増税について知っていたか、消費税率について自国と比較してどう思うか意見交換する。	太田 瑠璃子(にほんごNPO)	
4	平成26年5月18日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	10人	ブラジル(4人)ペルー(3人)フィリピン(1人)ベトナム(1人)マレーシア(1人)	欠勤・早退・遅刻の連絡をする	遅刻や早退、欠勤の理由を学習者から引き出し、接続詞「ので」で、複文を完成させる。会話例を提示し、ロールプレイで会話に慣れる。ワークシートで「ので」の理解を深める。	古田さと子(にほんごNPO)	
5	平成26年5月25日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	13人	ブラジル(3人)ペルー(3人)フィリピン(1人)ベトナム(1人)マレーシア(1人)インドネシア(3人)	病院へ行く(症状の説明)	病院へ行った際、症状を説明する。日本語以外の言葉を使っている人がいるか(～いらっしゃいますか)、確認する。体の部位、症状説明の形容詞の確認、症状別の病院の種類の確認。	太田 瑠璃子(にほんごNPO)	
6	平成26年6月1日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	14人	インドネシア(4人)ペルー(2人)フィリピン(3人)ブラジル(3人)ベトナム(1人)マレーシア(1人)	発車する時刻やかかる時間を尋ねる	目的地への交通手段を尋ねる。時刻表を見て、発車する時刻や掛かる時間などの質問に答える。「分」の読みを確認する。「V普通形+んですが、Vて形+いただけませんか」を使って文を作る。	古田さと子(にほんごNPO)	
7	平成26年6月8日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	10人	インドネシア(2人)ペルー(3人)フィリピン(1人)ブラジル(2人)ベトナム(1人)マレーシア(1人)	災害時の避難場所、準備、必要な情報について尋ねる	必要な情報について尋ねる。①複文を構成して質問する。「～(疑問詞)辞書形+か、ていませるか/～てください」②浜松市の避難行動計画の冊子を見ながら、避難場所、救護場所、災害危険地域、準備物などについて確認する。③テレビや携帯に表示される災害速報について理解する ④会話練習「(災害に)何を準備するか、教えてもらえませんか？」	太田 瑠璃子(にほんごNPO)	
8	平成26年6月15日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	7人	インドネシア(1人)ブラジル(1人)ペルー(2人)フィリピン(1人)マレーシア(1人)中国(1人)	道案内する	「V辞書形+と、～(例:交差点を右へ曲がると、左にある)で道案内の文に慣れる。拡大地図を使って目的地への行き方をロールプレイする。「V普通形+んですが、疑問詞+たらいいですか」で助言や指示を求める言い方を教える。	古田さと子(にほんごNPO)	
9	平成26年6月22日 9:50～12:00	2時間		休み					
10	平成26年6月29日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	9人	インドネシア人(1人)ブラジル人(2人)ペルー人(2人)ベトナム人(1人)マレーシア人(1人)フィリピン人(2人)	運行情報	イラストを提示し、聴解問題で情報や状況を把握する。文型「～て形+います」で、イラストを説明する。駅員や客の会話例で、原因の「～で」「～ため(に)」と伝聞の「～そうです」の導入をする。伝聞の「～によると、～そうです」を使って、文を作る。原因を描くイラストを提示し、「～で」「～ため(に)」の文を作る。	古田さと子(にほんごNPO)	

11	平成26年7月13日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	6人	インドネシア(1)ブラジル(1)ペルー(1)マレーシア(1)韓国(1) ※会話3から2名(中国・ブラジル)	119番通報	「～てしまいました」を使って、予期せぬ出来事を伝える練習。119番通報という状況設定で、状況説明、現在地の伝達、緊急車両の依頼を練習。怪我、事故(交通事故、火事)で使用する語彙や動詞などを導入、現在地の住所がわからない場合にどのようにするか(人に聞く。その際の尋ね方、電柱で町名を確認する、位置詞を使い自立建物など周辺状況を説明する)などを練習。例文を使った口頭練習から、自分で内容を考え通報する、応用編の口頭練習まで。	太田 瑠璃子(にほんごNPO)	松浦圭子(にほんごNPO)
12	平成26年7月20日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	9人	インドネシア(1人)ペルー(2人)ブラジル(1人)ベトナム(1人)マレーシア(1人)カナダ(1人)中国(1人)韓国(1人)	台風について理解する	台風について知っている情報を話し合う。資料を読んで理解を深める。絵カードや写真で理解を助ける。防災ガイドブックで台風発生時の適切な行動を話し合う。資料を読んで理解を深める。ワークシートで「～ください」を使った文を練習。新聞記事が書かれたカードでペアワーク、「いつ、どこで、何が、だれが、どうした」を考えて、発表。ワークシートの「いつ、どこで、何が、だれが、どうした」の表を完成させる。	古田さと子(にほんごNPO)	
13	平成26年7月27日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	6人	インドネシア(1人)ペルー(2人)ベトナム(1人)マレーシア(1人)中国(1人)韓国(1人)	料理の作り方を説明する	自国の料理にはどんなものがあるか、その料理を誰に作ったことがあるか、を自由に発表。料理をする時に使う動詞(切る、煮る、ゆでる、焼く、炒めるなど)や、順序だてて話す際に使う語彙(まず、それから、最後に)を学習。牛丼レシピを見ながら、友達に作り方を説明するペアワークを行う。(ビデオに発話の様子を録画。希望者にはあとで見せることにした)次に会話例を見ながら、もう一度同じ説明してもらう。	太田 瑠璃子(にほんごNPO)	
14	平成26年9月7日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	8人	インドネシア(1人)ペルー(3人)ベトナム(2人)韓国(1人)ブラジル(1人)	地震のときどうするか	防災頭巾、非常用持ち出し袋、乾パンなどのレリアを提示する。地震や避難訓練などの体験談を話し合う。非常用持ち出し袋に入れるものをみんなで考え、何のために必要かを「～のために」の文で説明する。ワークシートで「～(の)ために」の練習問題をやる。地震とは、地震が発生する前にできること、地震が発生したらどうするかをワークシートと資料を読んで理解を深める。マグニチュードと震度の違いなどイラストや資料で理解する。	古田さと子(にほんごNPO)	
15	平成26年9月14日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	6人	インドネシア(1人)ペルー(3人)ベトナム(1人)ブラジル(1人)	電話をかけて伝言を残す	電話をかけて、伝言を頼む時の話し方を学ぶ。(電話があったことを伝えてもらう、伝言の内容を伝えてもらう、後ほどこちらからかけ直すことを伝えてもらう)「～さんはいらっしゃいますか」、「～していただけませんか」(例:伝えていただけませんか)、「こちらからかけ直します」	太田 瑠璃子(にほんごNPO)	
16	平成26年9月21日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	6人	ペルー(3人)ベトナム(1人)中国(1人)フィリピン(1人)	人を誘う、誘いを断る	イラストを提示し、会話文を考える。ワークシートで人を誘ったり、誘いを断る練習をする。ワークシート「聞きましょう」で、会話を聞き取り、断った理由を確認する。ロールプレイで人を誘ったり、誘いを受けたり断ったりする。ワークシートで状況に応じた話し方や関連語彙を学ぶ。	古田さと子(にほんごNPO)	

第1期日曜AM教室(会話5)

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師氏名	補助者氏名
1	平成26年4月13日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	9名	インネシ(5名)中国・アメリカ・フィリピン・ネパール(各1名)	自己紹介	同じ集団に属する人に対して自身の情報を提供する際、日本で重視されること(仕事・既婚か未婚か・家族構成等)を知り、場にあった自己紹介ができる。	岩瀬ひろみ(にほんごNPO)	
2	平成26年4月20日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	7名	インネシ(3名)中国・インド・フィリピン・ネパール(各1名)	あいさつ	初対面・ひさしぶりに会った時等、場面にあった表現や語彙を知り、挨拶ができる。	岩瀬ひろみ(にほんごNPO)	
3	平成26年5月11日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	6名	インネシ(3名)中国(2名)ネパール(1名)	私の町	出身地について話題にでき、少しまとまった情報を与える文章を産出する練習をする	岩瀬ひろみ(にほんごNPO)	
4	平成26年5月18日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	9名	インネシ(3名)インド(2名)ブラジル(1名)中国(2名)ネパール(1名)	おみまい	友人の様子をたずね、必要そうなものやことを準備しお見舞いに行き、励ます。	岩瀬ひろみ(にほんごNPO)	
5	平成26年5月25日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	12名	インネシ(7名)インド(2名)ブラジル(1名)中国(1名)ネパール(1名)	旅行	海や山や街に出かけます。どんなことをしますか、何を持っていくますか。	岩瀬ひろみ(にほんごNPO)	
6	平成26年6月1日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	8名	インネシ(5名)インド(2名)中国(1名)	バスツアー	行きたいバスツアーを選びます。どんなことができますか?何をみますか?食べますか?	岩瀬ひろみ(にほんごNPO)	
7	平成26年6月8日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	8名	インネシ(4名)インド(2名)ブラジル(1名)ペルー(1名)	趣味(好きなこと)	どんな講座に入りたいか、好きなことを他の人にもすすめてみよう	岩瀬ひろみ(にほんごNPO)	

8	平成26年6月15日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	9名	インネシ(5名)インド(2名)ブラジル(1名)ペルー(1名)	敬語のきほん	初対面の人や会社の人など知り合ったばかりの人と話す場面で適切な言葉づかいができるようになる	岩瀬ひろみ(にほんごNPO)	
9	平成26年6月22日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	11名	インネシ(7名)インド(1名)ネパール(1名)ペルー(2名)	敬語～どこが？	初対面の人や会社の人など知り合ったばかりの人と話す場面で適切な言葉づかいができるようになる	岩瀬ひろみ(にほんごNPO)	
10	平成26年6月29日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	7名	インネシ(4名)インド(1名)ネパール(1名)ペルー(1名)	敬語でメール	適切な表現を用いてクラスを欠席する内容のメールを作成する	岩瀬ひろみ(にほんごNPO)	
11	平成26年7月13日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	7名	インネシ(3名)アメリカ(1名)ネパール(1名)	はじめまして	日本人の家を訪問する場面を想定し、適切な表現を学ぶ。	岩瀬ひろみ(にほんごNPO)	
12	平成26年7月20日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	5名	インネシ(4名)インド(1名)ネパール(1名)ペルー(2名)	先生も来たいですか・	歓迎迎会に日本人の先生をさそ。まず都合を聞く等、マナーと一緒に学ぶ。	岩瀬ひろみ(にほんごNPO)	
13	平成26年7月27日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	6名	インネシ(3名)インド(1名)ネパール(1名)ペルー(1名)	敬語の基本まとめ	不適切な表現について学び、正しい表現をするための考え方を知る	岩瀬ひろみ(にほんごNPO)	
14	平成26年9月7日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	7名	インネシ(3名)中国(1名)ネパール(1名)ペルー(1名)ブラジル(1名)	体験を伝える	経験や体験したことを人に伝えるためにまとめた量の文をつくる	岩瀬ひろみ(にほんごNPO)	
15	平成26年9月14日 9:50～12:00	2時間			休み				
16	平成26年9月21日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	5名	インネシ(1名)中国(1名)ネパール(1名)ベトナム(1名)ブラジル(1名)	学習目標を立てる	後期の学習目標を立てる	岩瀬ひろみ(にほんごNPO)	

第1期日曜AM教室(会話6)

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師氏名	補助者氏名
1	平成26年4月13日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	8人	中国(1人)、台湾(1人)、ブラジル(2人)、インドネシア(4人)	相談する・相談に乗る	上司から何か相談を受けた時の丁寧な対応の仕方を学ぶ。お礼を言われた時の、好印象な返し方を学ぶ。 親しい人／上司への提案の仕方の違いを学ぶ。	敷浪のぞみ(にほんごNPO)	戸田幸子(にほんごNPO)
2	平成26年4月20日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	5人	中国(2人)、ブラジル(1人)、アメリカ(1人)、インドネシア(1人)	初対面の人と話す・尋ねる	初対面の人と敬語を使って話す表現を学ぶ。学習者間の練習の後、HICE内山さんにインタビュー。相手の発言を受けて、質問をする方法を学ぶ。理由を分かりやすく説明する形を学ぶ。	敷浪のぞみ(にほんごNPO)	
3	平成26年5月11日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	3人	中国(2人)、インドネシア(2人)	消費税について話そう	消費税に関する語彙を増やす。自国の消費税について説明する練習をする。「～てきました／いきます」の変化を表す表現を使って意見を述べる。	敷浪のぞみ(にほんごNPO)	
4	平成26年5月18日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	6人	中国(3人)、インドネシア(1人)、ブラジル(2人)	オノマトペ(感情)	感情を表すオノマトペの語彙を増やす。どんな時に使う語か、ドキドキとワクワクなど微妙な違いなどを考えた。(カンカン、ハラハラ、ヒクヒク、モジモジ、イライラ、コソコソなど)	戸田幸子(にほんごNPO)	敷浪のぞみ(にほんごNPO)
5	平成26年5月25日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	7人	中国(1人)、ブラジル(2人)、アメリカ(1人)、インドネシア(3人)	目上の人への確認・指摘	目上の人への指摘や文句を婉曲的な表現や敬語を使って表現する	敷浪のぞみ(にほんごNPO)	戸田幸子(にほんごNPO)
6	平成26年6月1日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	6人	中国(2人)、ブラジル(3人)、ベトナム(1人)	目上の人への確認・指摘(実践編)	目上の人へ婉曲的な指摘をいろいろな場面で練習する。 前回時間が足りなかった応用練習の部分を実施。また、今後とりあげる「社会的な話題」のトピック選定のために学習者から意見を出してもらった。	敷浪のぞみ(にほんごNPO)	戸田幸子(にほんごNPO)
7	平成26年6月8日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	6人	中国(1人)、ブラジル(3人)、ベトナム(1人)	後悔の表現	後悔の気持ちを表す表現を学び、自分の経験を話す もし明日地球が終わるなら、何を後悔する？をきっかけに「Vばよかった」の表現を導入。今まで後悔した経験を話す。動詞のグループ分け、辞書形、条件形を確認した。	敷浪のぞみ(にほんごNPO)	戸田幸子(にほんごNPO)
8	平成26年6月15日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	10人	インドネシア(3人)、中国(2人)、ペルー(1人)、ブラジル(3人)、ベトナム(1人)	性格の語彙	性格を表現する語彙を増やす 学習者が知っている性格の語彙・表現をシェアしながら、語彙を増やす。人について説明する時に、「Aで、Bですが、Cところがある」の表現を導入。形容詞の分類、接続を確認。	敷浪のぞみ(にほんごNPO)	
9	平成26年6月22日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	5人	中国(1人)、ペルー(1人)、ブラジル(3人)	面接①	面接で自分をアピールする① 面接でされる質問の様々な型を知り、仕事の面接を受ける設定で自分についての説明を考える。	敷浪のぞみ(にほんごNPO)	太田瑠璃子(にほんごNPO)

10	平成26年6月29日 9:50~12:00	2時間	市民協働センター	4人	中国(1人)、ペルー(1人)、ブラジル(2人)	面接②	面接で自分をアピールする② 志望動機、経験、長所などについて自分をアピールする。ペアで練習を行う。 文のつながりを意識して文を整える。また、自分の長所、短所の伝え方を工夫する。	敷浪のぞみ(にほんごNPO)	
11	平成26年7月13日 9:50~12:00	2時間	市民協働センター	7人	中国(1人)、ペルー(1人)、ブラジル(3人)、インドネシア(2人)	経済について話そう①	経済について知っている語彙を整理し、補充する。 「~にもなって」を使って文をつなげる。 就労の場面で使われる語彙について、受身、使役、使役受身を確認する。	敷浪のぞみ(にほんごNPO)	
12	平成26年7月20日 9:50~12:00	2時間	市民協働センター	7人	中国(1人)、ペルー(1人)、ブラジル(2人)、インドネシア(2人)、韓国(1人)	経済について話そう②	前回学んだ語彙を会話の中で使う。 意見の強さによって文末が変わることを確認、整理する。 平均給与・失業率・外国人数のグラフを見て、今後どうなるか予想し、グループごとに発表する。	敷浪のぞみ(にほんごNPO)	
13	平成26年7月27日 9:50~12:00	2時間	市民協働センター	7人	ペルー(1人)、ブラジル(2人)、インドネシア(1人)、韓国(1人)、ベトナム(2人)	使役を使って、	・使役・使役受身の動詞活用確認と文型の整理 ・使役受身は本当に嫌だったことしか使わない→感謝の気持ちがあるときは、「やらせてもらった」を使う。 ・将来の子育て方針について話す	戸田幸子(にほんごNPO)	敷浪のぞみ(にほんごNPO)
14	平成26年9月7日 9:50~12:00	2時間	市民協働センター	7人	ペルー(1人)、ブラジル(1人)、フィリピン(1人)、イギリス(1人)、韓国(1人)、ベトナム(2人)	プロジェクトワーク① 宣伝方法を考える	・Facebookを活用した宣伝方法・教室の紹介方法を全体で考える。 ・自分のプランを考え、少人数のグループで共有し、意見をもらう。	敷浪のぞみ(にほんごNPO)	
15	平成26年9月14日 9:50~12:00	2時間	市民協働センター	7人	ペルー(2人)、ブラジル(2人)、韓国(1人)、ベトナム(2人)	プロジェクトワーク② プランを発表する	・自分のプランの目的、実行方法をクラス全体にプレゼンテーションする。 ・質疑応答に答える。 ・他の人のプレゼンに質問する。	敷浪のぞみ(にほんごNPO)	
16	平成26年9月21日 9:50~12:00	2時間	市民協働センター	4人	ブラジル(1人)、イギリス(1人)、ベトナム(2人)	プロジェクトワーク③ 準備をする	・プランが変わった人は改めて報告する。 ・プランの詳細(インタビューの質問事項・プロジェクトの紹介方法)の日本語を考える。 ・ペアで内容を見直して改善する。	敷浪のぞみ(にほんごNPO)	
17	平成26年9月28日 9:50~12:00	2時間	市民協働センター	44人	インド(2人)、インドネシア(10人)、韓国(1人)、中国(3人)、ネパール(1人)、パラグアイ(1人)、フィリピン(2人)、ブラジル(8人)、ベトナム(10人)、ペルー(6人)	全体集会	・前期の振り返りとしてアンケートに答える。 ・全体でグループに分かれてゲームを行う。(面白い) ・前期の出席率80%以上の学習者への表彰。 ・後期の案内。	敷浪のぞみ(にほんごNPO)	

第2期日AM日本語教室(会話0)

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師氏名	補助者氏名
1	平成26年10月05日 9:50~12:00	2時間	市民協働センター	8名	ブラジル(4名)ペルー・ネパール・ドイツ・イギリス(各1名)	ひらがな(一画)あいさつ	あいさつと主に教室で使う言葉について提示し、理解できているか、使用できるかを確認。	岩瀬ひろみ(にほんごNPO)	
2	平成26年10月12日 9:50~12:00	2時間	市民協働センター	9名	ブラジル(7名)ペルー・ネパール(各1名)	ひらがな(二画)あいさつ・クラス言葉	名前でのあいさつを使いながら練習、聞き返すフレーズの確認と練習、教室の言葉確認	敷浪のぞみ(にほんごNPO)	
3	平成26年10月26日 9:50~12:00	2時間	市民協働センター	6名	ブラジル(4名)ペルー(1名)・イギリス(1名)	ひらがな(三画)日付や月	日付や月・年などの表現を知る。	岩瀬ひろみ(にほんごNPO)	
4	平成26年11月9日 9:50~12:00	2時間	市民協働センター	9名	ブラジル(4名)イギリス・アメリカ・ペルー・ネパール・ベトナム(各1名)	ひらがな(似ている文字)カレンダーと時計	年月日の言い方・時間の言い方・時間まつわる基本表現を知る	岩瀬ひろみ(にほんごNPO)	
5	平成26年11月16日 9:50~12:00	2時間	市民協働センター	9名	ブラジル(2名)イギリス・アメリカ・ペルー・ネパール・ベトナム(各1名)スーダン(2名)	ひらがな(長音・促音・拗音)親族名称	家族の名称を知り、○人と言いつ方を紹介ができるようになる。	岩瀬ひろみ(にほんごNPO)	

6	平成26年11月23日 9:50~12:00	2時間	市民協働センター	7名	ブラジル(2名)・アメリカ・ペルー・ネパール・ベトナム・インド(各1名)	カタカナ・形容詞	カタカナの練習・「シ」と「ツ」、「ソ」と「ン」、よく使う形容詞を知る	岩瀬ひろみ(にほんごNPO)	
7	平成26年11月30日 9:50~12:00	2時間	市民協働センター	10名	ブラジル(2名)・アメリカ・イギリス・ペルー・ネパール・フィリピン・インド(各1名)中国(2名)	カタカナ・動詞	カタカナ 難しい表記の仕方を知る、起きてから寝るまでの動詞を知る	岩瀬ひろみ(にほんごNPO)	
8	平成27年1月11日 9:50~12:00	2時間	市民協働センター	5名	ブラジル(2名)・イギリス・フィリピン・ベトナム(各1名)	ひらがな・カタカナ復習	新規の学習者が来なかったので習熟度チェックを含めて、会話へのブリッジ授業とした。	岩瀬ひろみ(にほんごNPO)	
9	平成27年1月18日 9:50~12:00	2時間	市民協働センター	5名	ブラジル(1名)・イギリス・アメリカ・ベトナム・ネパール(各1名)	親族名称・形容詞応用	家族の写真を見せ合って「どんな?」の表現を練習する。	岩瀬ひろみ(にほんごNPO)	
10	平成27年1月25日 9:50~12:00	2時間	市民協働センター	3名	ブラジル・イギリス・ベトナム(各1名)	時計・カレンダー復習	好きな・きれいな〇〇はなんですか? どうしてですか? 会話のきっかけの練習	岩瀬ひろみ(にほんごNPO)	
11	平成27年2月1日 9:50~12:00	2時間	市民協働センター	5名	ブラジル・イギリス・ベトナム・アメリカ・ネパール(各1名)	形容詞(い・な形容詞)活用	〜くない になるものと 〜じゃない になるものはどう違うか、理解してもらおう(再挑戦)、所在についての表現(あります・ありません、どこに)、住まいについての表現	岩瀬ひろみ(にほんごNPO)	
12	平成27年2月8日 9:50~12:00	2時間	市民協働センター	9名	ブラジル・ベトナム・インドネシア(各2名)イギリス・アメリカ・韓国(各2名)	数え方・買い物	量数詞の別について理解する。「いくつありますか?」「〇個ください」等の表現も練習する。	岩瀬ひろみ(にほんごNPO)	
13	平成27年2月22日 9:50~12:00	2時間	市民協働センター	7名	ブラジル(4名)ベトナム(2名)イギリス・アメリカ・パラグアイ(各1名)	疑問詞と疑問文	疑問詞を用いた疑問文について質問の仕方と答え方を理解する	岩瀬ひろみ(にほんごNPO)	
14	平成27年3月1日 9:50~12:00	2時間	市民協働センター	9名	ブラジル・ベトナム(各2名)イギリス・インドネシア・パラグアイ(各2名)	病気とけが	体調が悪い時、けがをした時の表現を学ぶ	岩瀬ひろみ(にほんごNPO)	
15	平成27年3月8日 9:50~12:00	2時間	市民協働センター	10名	ブラジル(5名)ベトナム・インドネシア(各2名)アメリカ(1名)	交通機関	公共交通機関を利用する、道案内の表現を知る。	岩瀬ひろみ(にほんごNPO)	

第2期日AM日本語教室(会話1)

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師氏名	補助者氏名
1	平成26年10月5日 9:50~12:00	2時間	市民協働センター	5人	アメリカ(1)ベトナム(1) メキシコ(1)インド(1) ペルー(1)	自己紹介	初対面の挨拶の仕方。自己紹介後、相手に名前や国を尋ねる言い方を練習。ネームカードを作成。働いているところや住んでいるところを言う。	松浦圭子(にほんごNPO)	杉本麗(にほんごNPO)
2	平成26年10月12日 9:50~12:00	2時間	市民協働センター	15人	インド(5) ペルー(2) インドネシア(2) ベトナム(3) アメリカ(1) 中国(1) フィリピン(1)	たべもの のみもの	カレンダーに関する日付等言い方を練習する QAで好きな食べ物を聞く、言う 飲み物を勧める。進められたときのやり取りを学習する(※失礼のないように断る言い方) 朝ご飯でよく食べるものを言う	松浦圭子(にほんごNPO)	杉本麗(にほんごNPO)
3	平成26年10月26日 9:50~12:00	2時間	市民協働センター	7人	ペルー(1) インドネシア() ベトナム() アメリカ() 中国() フィリピン() ※見学者2名	たべもの のみもの	簡単な注文の仕方を学習 好きな料理について話す 形容詞を使ってどんな店か話す	松浦圭子(にほんごNPO)	

4	平成26年11月9日 9:50~12:00	2時間	市民協働センター	6人	ペルー(2) インドネシア(1) ベトナム(3) ※見学者なし	いえ	自分が住んでいる家(アパート)について 形容詞を使って簡単に説明する 家の中、部屋の中に何があるか話す	松浦圭子(にほんごNPO)	杉本麗(にほんごNPO)
5	平成26年11月16日 9:50~12:00	2時間	市民協働センター	8人	ペルー(2) インドネシア(1) ベトナム(4) フィリピン(1)	いえの中	位置詞を使って、表現できる 家の中の場所に関することばを知る 自分の住所を言う、書く	松浦圭子(にほんごNPO)	杉本麗(にほんごNPO)
6	平成26年11月23日 9:50~12:00	2時間	市民協働センター	8人	インド() ペルー(2) インドネシア(1) ベトナム(3) アメリカ(1) 中国() フィリピン(1)	時間	何時にVますか。 活動する時間をきくことができる。 時間を正しく言うことができる。	杉本麗(にほんごNPO)	
7	平成26年11月30日 9:50~12:00	2時間	市民協働センター	8人	インド() ペルー(2) インドネシア(2) ベトナム(3) アメリカ(1) 中国() フィリピン()	予定	予定を聞く。(いつがいいですか) 曜日で予定をこたえることができる。	杉本麗(にほんごNPO)	松浦圭子(にほんごNPO)
8	平成27年1月11日 9:50~12:00	2時間	市民協働センター	12人	インド(1) ペルー(2) インドネシア(5) ベトナム(3) フィリピン(1)	休みの日(1)	趣味について話す、尋ねる &好きなことを話す、尋ねる 休みの日に何をするか話す	松浦圭子(にほんごNPO)	杉本麗(にほんごNPO)
9	平成27年1月18日 9:50~12:00	2時間	市民協働センター	18人	インド(1) ペルー(1) インドネシア(6) ベトナム(2) アメリカ(1) ネパール(1) フィリピン(4) ブラジル(2)	休みの日(1)	ポスターやカレンダーを読む ほかの人を誘う言い方を学習 誘われた時の答え方を練習する	松浦圭子(にほんごNPO)	杉本麗(にほんごNPO)
10	平成27年1月25日 9:50~12:00	2時間	市民協働センター	17人	インド(1) ペルー(2) インドネシア(7) ベトナム(2) アメリカ(1) ブラジル(2) フィリピン(1) ネパール(1)	まち	目的地までの行き方(乗り物)を伝える どうしてその乗り物に乗るか答える	杉本麗(にほんごNPO)	松浦圭子(にほんごNPO)
11	平成27年2月11日 9:50~12:00	2時間	市民協働センター	23人	インド(1) ペルー(2) インドネシア(10) ベトナム(4) アメリカ(1) ブラジル(2) フィリピン(2) ネパール(1)	まち	「きれいなおてら」など名詞を修飾する 道案内の言葉を知る お店の営業時間をよむ	杉本麗(にほんごNPO)	
12	平成27年2月8日 9:50~12:00	2時間	市民協働センター	16人	ペルー(1) インドネシア(7) ベトナム(3) アメリカ(1) フィリピン(2) ネパール(1) 韓国(1)	かいもの	買い物で どんなものがほしいか言う ものの数え方 どこで買えるか尋ねる、答える	松浦圭子(にほんごNPO)	杉本麗(にほんごNPO)
13	平成27年2月22日 9:50~12:00	2時間	市民協働センター	18人	ペルー(2) インドネシア(12) アメリカ(1) 韓国(1) フィリピン(1) フィリピン(1)	かいもの	物を見て、どう思うか言う (形容詞) 買い物をするとき、他のものがあるか店員にたずねる	松浦圭子(にほんごNPO)	杉本麗(にほんごNPO)
14	平成27年3月1日 9:50~12:00	2時間	市民協働センター	14人	インド(1) 韓国(1) インドネシア(6) ベトナム(2) ブラジル(1) ネパール(1) タイ(1) フィリピン(1)	休みの日(2)	休みの日にしたことを話す。 したことの感想を述べる。	杉本麗(にほんごNPO)	なし

15	平成27年3月8日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	24人	インド(1) ベルギー(1) インドネシア(13) ベトナム(5) ブラジル(1) タイ(1) 韓国(1) ネパール(1)	休みの日(2)	感想を述べる。(でも、そして) 行きたい場所について話す。	杉本麗(にほんごNPO)	なし
----	-------------------------	-----	----------	-----	--	---------	-------------------------------	--------------	----

第2期日AM日本語教室(会話2)

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師氏名	補助者氏名
1	平成26年10月5日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	8人	ブラジル(3人)、ベトナム(3人)、フィリピン(1人)、アメリカ(1人)	私と家族	テキストの写真を提示して、家族の導入をする。長音を注意して、家族の呼び名を正しく書く。お母さんと母、お父さんと父などの使い分けに慣れる。「どこに住んでいるか」、「何をしているか」の会話を練習する。テキストやワークシートで理解を深め、自分の兄弟・家族について話せるようにする。文型「Vています」を「住みます、働きます、教えます、勉強します」の動詞で理解する。	古田さと子(にほんごNPO)	横山恵子(にほんごNPO)
2	平成26年10月12日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	19人	ブラジル(2人)、ベトナム(7人)、アメリカ(1人)、中国(2人)、韓国(1人)、インドネシア(1人)、パラグアイ(1人)、インド(4人)	好きなこと・趣味	テキストの聞き取りと練習問題を通して、「家族と何語で話しますか」、「趣味は何ですか」を教え、会話で使えるようにする。文型「Vること」の形と文中での使い方を教える。練習問題で理解を深める。既習の助詞を練習問題で復習する。	古田さと子(にほんごNPO)	横山恵子(にほんごNPO)
3	平成26年10月26日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	11人	ブラジル(2人)、ベトナム(6人)、中国(1人)、インドネシア(2人)、パラグアイ(1人)、	季節	テキストの写真や絵カードを提示して、学習者の知っている言葉を引き出す。ワークシートで季節の変化や好きな季節とその理由を簡単に話すことができるようにする。日本の季節について話し合い、自国の季節について紹介できるようにする。「Nに・イA-く・ナA-に+なります」、「イA-いの・ナA-なの+が好きです/は好きじゃありません」、理由の助詞「から」(S1から、S2)を教える。	古田さと子(にほんごNPO)	横山恵子(にほんごNPO)
4	平成26年11月9日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	12人	ブラジル(2人)、ベトナム(4人)、インドネシア(1人)、タイ(1人)、中国(2人)、韓国(1人)アメリカ(1人)	天気	テキストのイラストを見ながら、天気についての語彙、会話を学ぶ。季節ごとの日本の気候について話したり、最近の天気について話し、今の自国の天候について話す。動詞、名詞、形容詞の過去形を学ぶ。(晴れます、晴れました、晴れです、晴れでした、あついです、あつかったです)天気の表現をて形を使って練習。(晴れています、雨が降っています、等)	太田 瑠璃子(にほんごNPO)	横山恵子(にほんごNPO)
5	平成26年11月16日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	10人	ブラジル(2人)、ベトナム(2人)、インドネシア(3人)、中国(1人)、韓国(1人)、パラグアイ(1人)、	わたしのまち	浜松の地図と観光スポットの写真を提示して、話し合う。知っている形容詞を引き出す。イ形容詞とナ形容詞に分け、テ形にする。テキストの聞き取りをし、スクリプトの内容を確認する。ワークシートで理解を深める。全員が自国の町を紹介する。	古田さと子(にほんごNPO)	
6	平成26年11月23日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	15人	ブラジル(3人)、パラグアイ(1人)、中国(1人)、アメリカ(1人)、タイ(1人)、インドネシア(3人)、ベトナム(5人)	まっすぐいってください①	授業前半は先週の復習(形容詞:～くて、～です。～で、～です。)※今回の授業内容に関連して、お勧めの店の情報を説明してほしかったので、前回の授業課題を全員が言えるかどうか、確認する必要があった。そのため、内容を忘れていたり、活用が上手にできない学習者もいたため、前回の復習に時間がかかってしまった。(①逆説:～ですが、～です。②～です。そして～です。も学習)後半は、テキストを使い道をさく、説明するときに使う動詞、語彙などを学習。「～があります」など。QA: 浜松に何がありますか?に対し、「～のちかくに」「～の前に」など位置詞なども使い、発話の練習をした。	太田 瑠璃子(にほんごNPO)	横山恵子(にほんごNPO)
7	平成26年11月30日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	15人	ブラジル(3人)、パラグアイ(1人)、中国(2人)、アメリカ(1人)、タイ(1人)インドネシア(4人)、ベトナム(3人)	まっすぐいってください②	建物やタワーや橋などを描写する形容詞とそのテ形を学習しワークシートで並列の用法(白くて高いビル)を理解する。道案内に使う動詞とそのテ形を学習し、ワークシートでテ形の継起の用法(まっすぐ行って、信号を右にまがる)を理解する。聞き取りで道案内の会話に慣れる。町の地図を使って、道案内のロールプレイをする。全員が発表する。	古田さと子(にほんごNPO)	横山恵子(にほんごNPO)
8	平成27年1月11日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	13人	ブラジル(2人)、ベトナム(5人)、インドネシア(4人)、アメリカ(1人)、ペルー(1人)	わたしの冬休み	自分の国のお正月について話す。冬休みに何をしたか、学習者同士で質問しあい、最後に相手の冬休みについてみんなの前で発表してもらおう。≪2文以上をて形を使って表現する。≫(例:)お寺に行きました。お祈りしました。→お寺に行って、おいりました。	太田 瑠璃子(にほんごNPO)	横山恵子(にほんごNPO)

9	平成27年1月18日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	18人(1人見学)	ブラジル(2人)、ベトナム(5人)、インドネシア(6人)、アメリカ(1人)、パラグアイ(1人)、ペルー(1人)、フィリピン(1人)	まちあわせ	テキストの写真を提示して、語彙を引き出す。ロールプレイで待ち合わせの約束をする(場所、時間など)。文型「Nでもいいですか」を理解し、使えるようになる。テキストのイラストを提示して、待ち合わせの時間に遅れた理由や原因を話す。聞き取りで、会話文に慣れる。	古田さと子(にほんごNPO)	横山恵子(にほんごNPO)
10	平成27年1月25日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	16人	ブラジル(1人)、ベトナム(6人)、インドネシア(5人)、アメリカ(1人)、パラグアイ(1人)、ペルー(1人)	見に行きます	前回の復習(まちあわせの時間に遅れて謝罪する・Vて、遅れました)を再確認。追加で「Vてしまつて/Vてしまいました」を導入。いくつかの動詞で変換練習(時間をまちがえてしまいました、等)第8課学習内容。「Vます形+に+行きます」「Vます形+ませんか」「Vます形+ましょう」「もう～Vましたか」「いいえ、まだです」「〇〇はどうですか」授業の終盤で、前回の学習内容も交え、総まとめ。(友達を誘う⇒待ち合わせの日時、場所を相談する、まてをベアワーク)	太田 瑠璃子(にほんごNPO)	横山恵子(にほんごNPO)
11	平成27年2月1日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	16人	ブラジル人(2人)、ベトナム人(3人)、インドネシア人(7人)、アメリカ人(1人)、ペルー人(1人)、タイ人(1人)、中国人(1人)	がいこくご	テキストのイラストや写真で発話を引き出す。テキストの写真で日本の文化や特徴のある町について話す。文型「Vたいんですが」「Vるの」(動詞の名詞化)「Vてくださいませんか」を教え、どんな時に使うか考える。ワークシートや聞き取り練習で理解を深める。いまままでにどんな外国語を勉強したが、話し合い(ベアワーク)発表する。	古田さと子(にほんごNPO)	横山恵子(にほんごNPO)
12	平成27年2月8日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	14人	ブラジル(2人)、アメリカ(1人)、パラグアイ(1人)、タイ(1人)、ペルー(1人)、ベトナム(4人)、インドネシア(3人)、韓国(1人)	しょうらい～たいです。	会話例のリスニングでは、1回目をネイティブスピードで、2回目をゆっくり聞かせることで、リスニングの練習を行っている。「Vたい」「Vましょう」はいくつかの動詞をあげ、活用練習を行う。「Vましょうか」は状況を提示し、どんな動詞が考えられるか、学習者に考えてもらったりもした。「Vたい」「Vましょう」ともにベアで会話をさせ、レベルが上の学習者には「そうですか」「いいですね」「どうしてですか」など、相槌や質問をさせることも促し、より自然な会話になるよう促した。	太田 瑠璃子(にほんごNPO)	横山恵子(にほんごNPO)
13	平成27年2月22日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	8人	ブラジル(2人)、アメリカ(1人)、パラグアイ(1人)、ペルー(1人)、ベトナム(2人)、インドネシア(1人)	お花見/ピクニックの相談	まるごと初級A1(かつどう)第11・12課。「春に何をします?」を学習者に色々考えて答えてもらう。①お花見をする時に何をするか、みんなで相談する。「～はどうしますか」「どこ/なにがいいですか」「どこ/なんでもいいです」②食べ物に関する形容詞(あまい、からい等)、「～くて、～です」を使って、自国の料理はどんな味がするか紹介してもらう。	太田 瑠璃子(にほんごNPO)	横山恵子(にほんごNPO)
14	平成27年3月1日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	13人	ブラジル(2人)、アメリカ(1人)、パラグアイ(1人)、タイ(1人)、ペルー(1人)、ベトナム(2人)、インドネシア(4人)、韓国(1人)	経験の有無許可を求める	テキストの写真やイラストで自由な発話を引き出す。「Vたことがあります」を使って経験したことを話す。「Vてもいいですか」を使って身近なことで許可を求める。ベアワークで文型を使いながら自由に会話する。テキストのオフィスのイラストを提示して、語彙を増やす。動詞の3つのグループとテ形を確認する。	古田さと子(にほんごNPO)	横山恵子(にほんごNPO)
15	平成27年3月8日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	11人	ブラジル(4)、ペルー(1)、タイ(1)、インドネシア(5)	健康のために～しています	体の部位に関する言葉を知る。相手の不調に気付けて心配する時の問かけの仕方(例:どうしたんですか?どうしたの?大丈夫?等)健康のためのアドバイスをする「V普通形+といいですよ」健康のために自分がしている行為についてのべる「健康のためにVています/Vたり、Vたりしています」文型を学習した後はベアワークで会話練習	太田 瑠璃子(にほんごNPO)	横山恵子(にほんごNPO)

第2期日AM日本語教室(会話3)

回数	開講日時	時間数	場所	16人	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師氏名	補助者氏名
1	平成26年10月5日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	10人	アメリカ(1人)、ニュージーランド(1人)、ペルー(3人)、中国(1人)、ベトナム(2人)、ブラジル(2人)	自己紹介	名前札等の作成をする。テキスト購入について、案内する。今後の進め方を説明する。新聞記事を読む。場面に応じた会話について説明する。『日本語おしゃべりのたね』のユニット1に沿って進める。自国の言葉で自己紹介、日本語で自己紹介をする。短い会話を練習する。	門奈礼子(にほんごNPO)	
2	平成26年10月12日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	15人	アメリカ(1人)、ペルー(5人)、中国(1人)、ベトナム(3人)、ブラジル(3人)、インドネシア(1人)、フィリピン(1人)	日本の料理、自分の国の料理	先週の復習を口頭で行う。『おしゃべりのたね』ユニット9のプリント配布。日本料理の絵を見ながら、食べたことのある料理をないに説明する。説明の語彙や文法を導入したあとに、グループワーク。浜松にレストランを開店する設定で、自分の国のおすすめ料理をグループ内で紹介し、話し合いで1つのメニューに決める。その後全体にプレゼンテーションする。	門奈礼子(にほんごNPO)	中嶋さくら(にほんごNPO)

3	平成26年10月26日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	14人	アメリカ(1人)、 ニュージーランド(1人)、ペルー(4人)、 中国(1人)、ベトナム(3人)、ブラジル(3人)、インドネシア(1人)	まるごと 3沖縄旅行 第5課帽子を持って行ったほうが良いですよ	テキストの使用の仕方などについて、説明する。「①かんこう」の写真を見て得られる情報を発表してもらおう。「②海もきれいだし、食べ物もおいしいし、いいところですよ」音声聞いて、内容を要約してもらおう。文法を導入し、練習する。「③帽子を持って行ったほうが良いですよ」も同様に進め、最後にペアワークで観光地をすすめる会話をする。	門奈礼子(にほんごNPO)	
4	平成26年11月9日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	10人	アメリカ(1人)、ペルー(3人)、中国(1人)、ベトナム(1人)、ブラジル(2人)、インドネシア(2人)	まるごと 3沖縄旅行 第6課イルカのショーが見られます	動詞の可能形の作り方などを簡単に確認して、「①旅行のパンフレット」の写真を見て何ができるか考える。ツアーデスクでツアーの紹介してもらい会話をペアで作ってもらい発表。「②イルカのショーが見られます」の音声聞いて、内容を要約してもらおう。シャドーイング。グループワークで沖縄の旅行プランを考えてもらう。	門奈礼子(にほんごNPO)	中嶋さくら(にほんごNPO)
5	平成26年11月16日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	13人	アメリカ(1人)、 ニュージーランド(1人)、ペルー(4人)、 中国(1人)、ベトナム(2人)、ブラジル(2人)、インドネシア(2人)	まるごと 4. 日本まつり 第7課雨がふったらどうしますか	先週テキストの問題でやり残した項目を、可能形動詞の復習を兼ねて全体でやってから、本日の7課の導入に入った。「①日本まつりのボランティア」では絵から得られる情報を整理して、ボランティアの仕事の内容とそれをやるために何ができる必要があるかを考えた。次に自分のやりたい仕事(できる仕事)を各自発表して、その仕事を頼まれた時の承諾の仕方とそれ以外の仕事を頼まれたので断るときの会話を全体で考えて作り、ペア練習した。「②ヨサコイ」の音声聞き、問題をやってから、p64の会話を練習した。	門奈礼子(にほんごNPO)	中嶋さくら(にほんごNPO)
6	平成26年11月23日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	12人	アメリカ(1人)、 ニュージーランド(1人)、ペルー(4人)、 中国(2人)、ベトナム(3人)、インドネシア(1人)	まるごと 第8課何時に始まるか、知っていますか	・わいわいパーティーのレリアアを使って、パーティーの詳細をたずねる場面で導入。「疑問詞+か」「～かどうか」に限定して文法を確認。 ・勉強した文法を使って、グループワークで話し合い、発表。	敷浪のぞみ(にほんごNPO)	中嶋さくら(にほんごNPO)
7	平成26年11月30日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	12人	アメリカ(1人)、 ニュージーランド(1人)、ペルー(4人)、 中国(1人)、ベトナム(3人)、インドネシア(1人)、 ブラジル(1人)	まるごと 5.とくべつな日 第9課お正月は何をしていましたか	日本人のおしゃべりで、日本についてどう思うか聞かれた時にどう答えるかという場面で「Nとか」を導入。練習した後テキストのお正月の写真を見ながら、正月の過ごし方を紹介。音声を聞きながら問題を解いて、口頭練習。正月らしいゲーム体験として双六をグループで体験する。	門奈礼子(にほんごNPO)	中嶋さくら(にほんごNPO)
8	平成27年1月11日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	9人	ペルー(3人)、中国(1人)、ベトナム(2人)、インドネシア(2人)、ブラジル(1人)	まるごと 5.とくべつな日 第10課 いいことがありますように	年末年始の過ごし方を一人一人に聞き、ゲームをしてウォームアップ。今年の願い事を書いて発表する。「～ますように」「～るように、～」テキストの音声を聞きながら、5つのまつりについて理解を深める。	門奈礼子(にほんごNPO)	中嶋さくら(にほんごNPO)
9	平成27年1月18日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	15人	アメリカ(1人)、 ニュージーランド(1人)、ペルー(4人)、 中国(1人)、ベトナム(4人)、インドネシア(3人)、 ブラジル(1人)	まるごと 6.ネットショッピング 第11課 そうじがこわれてしまったんです	3つの場面を説明し、その場面でどんな会話をするか即興で作って発表してもらおう。その際に「んです」が使われるかチェックする。「んです」の説明をして、ワークシートで練習する。ペアワーク。ワークシートを見ながら、「Vちゃったんです」を使った短文を作ってもらい、ワークシートを記入する。テキストの音声を聞いて、問題を解き、音声に沿って会話の口頭練習をする。	門奈礼子(にほんごNPO)	
10	平成27年1月25日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	17人	アメリカ(1人)、ペルー(5人)、中国(1人)、ベトナム(6人)、インドネシア(3人)、 ブラジル(1人)	まるごと 6.ネットショッピング 第12課 こっちの方が安いです	先週の復習を口頭で行い、ゲームで「～んです」の練習をする。インターネットショッピングのいいところ悪いところを2グループに分かれて討論する。その際に「～と思います」で自分の意見を述べる。テキストの音声を聞いて、問題をやる。会話を口頭練習する。	門奈礼子(にほんごNPO)	
11	平成27年2月1日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	17人	アメリカ(1人)、ペルー(2人)、ベトナム(7人)、 インドネシア(4人)、 ブラジル(3人)	まるごと 7.れきしと文化の町 第13課 このおてらは14せいきにたてられました	京都の町について知っていることなどを発表してもらおう。金閣寺のデータを板書して、それをどう説明するか、数人にやってもらい、受身形が出てくるか、見る。受身形の文法を復習し、非情の受け身の使い方を確認する。テキストの音声を聞いて、もんだいをやる。テキストの会話のスキriptを基に、グループでその場面をやってもらい、発表する。	門奈礼子(にほんごNPO)	
12	平成27年2月8日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	19人	ペルー(4人)、ベトナム(8人)、 インドネシア(3人)、 ブラジル(2人)、中国(1人)、 韓国(1人)	まるごと 7.れきしと文化の町 第14課 この絵はともゆうめいだそうです	先週の文法を口頭で復習したあとに、活動で撮影したビデオをみんなで見て感想を言う。伝聞「そうです」を導入して、グループで練習する。6人グループに分かれ、メッセージが書かれたカードをめくりながら、隣の人に伝言を伝える。テキストの音声を聞いて、問題を解く	門奈礼子(にほんごNPO)	

13	平成27年2月22日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	18人	ペルー(4人)、ベトナム(5人)、インドネシア(3人)、ブラジル(3人)、韓国(2人)、アメリカ(1人)	まるごと7.れきしと文化の町 第14課 この絵はとてゆうめいだ そうです	先週の復習を口頭で行い、先週できなかった会話の音声シャドーイングを行う。 外観「そうです」を導入し、新しく入った人やよく知らない人の印象を言う。 伝聞「そうです」を使って、他己紹介をする。	門奈礼子(にほんごNPO)	中嶋さくら(にほんごNPO)
14	平成27年3月1日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	22人	ペルー(5人)、ベトナム(7人)、インドネシア(4人)、ブラジル(3人)、韓国(2人)、中国(1人)	まるごと8.せいかつとエコ 第15課 電気がついたままですよ	ゲームで5人×4グループに分ける。 どんなエコ活動があるか、少し話した後に、ワークシートに身近にできるエコ活動を記入してもらう。 グループでいいと思うエコ活動を10個選びカードに書く。 そのカードを違うグループと交換して、ワークシートのチェック表にエコ活動しているか、書く。その際に「ようになっていますか」を使って聞く。 一番エコ点数が高い人、平均点が高いグループを発表する。	門奈礼子(にほんごNPO)	
15	平成27年3月8日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	21人	ペルー(3人)、ベトナム(8人)、インドネシア(5人)、ブラジル(1人)、韓国(1人)、中国(1人)、アメリカ(1人)、ニュージーランド(1人)	まるごと9.せいかつとエコ 第15課 電気がついたままですよ	先週の「～ようになっています」を口頭で復習する。 音声の問題をやり、シャドーイングする。 ペアワークで「ようになっています」を使った会話をしてもらう。 助詞の穴埋め問題をやる。	門奈礼子(にほんごNPO)	中嶋さくら(にほんごNPO)

第2期日AM日本語教室(会話4)

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師氏名	補助者氏名
1	平成26年10月5日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	7人	中国(1人)、ブラジル(2人)、フィリピン(1人)、アメリカ(1人)、カナダ(1人)、ネパール(1人)	会話4のクラスについて	簡単に自己紹介をする。 教科書、クラスの日程、欠席するときの連絡先について確認する。 勉強法の紹介、インターネットでニュースを聞く&読む&シャドーイングをする 「台風のニュース」を読み、内容及び語彙や文型について確認する。 ペアで自己紹介をする(日本語を勉強する目的、将来の夢、これまでの歩みを盛り込んで)。 他己紹介は中止。 意向形の意味&作り方の確認後、問題に答える。 答え合わせをする。 クラスの目標を共有する。	加藤庸子(にほんごNPO)	
2	平成26年10月12日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	14人	中国(2人)、ブラジル(4人)、フィリピン(1人)、カナダ(1人)、ネパール(1人)、イギリス(1人)、ペルー(2人)、ベトナム(2人)	自己紹介&他己紹介 許可を求める	隣の人とペアで自己紹介を行ったあと、クラスの皆に隣の人を紹介する。 適切な紹介の仕方について、皆で共有する。 許可を求める会話を聞き、どのような表現が使われていたか、分かったことを言う 教科書で文型を確認する。 使役形の作り方をプリントを使って確認した後、代入練習をする。 間接的な表現と直接的な表現がそれぞれどのような場面で使われるのか確認する。	加藤庸子(にほんごNPO)	
3	平成26年10月26日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	10人	中国(1人)、ブラジル(3人)、フィリピン(1人)、カナダ(1人)、ペルー(2人)、ベトナム(2人)	許可を求める 求めに答える	部下が上司に許可を求める会話を聞く 許可を求める時や求めに応じる時に使われる文型を確認する 使役形への変換の仕方を確認する いろいろな場面での許可の求め方を練習する 許可を求められた時の答え方を練習する 許可を求める際のストラテジーについて話し合う 会話文をペアで練習する 日常生活の中でどのような時に許可を求めるか話し合う	加藤庸子(にほんごNPO)	
4	平成26年11月9日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	9人	中国(1人)、ブラジル(3人)、アメリカ(1人)、ペルー(2人)、ベトナム(2人)	依頼をする	今まで依頼の場面で困ったことを話し合う 丁寧な依頼の表現を整理する 依頼の前後に言う印象が良くなる表現を確認する 自分の身近な場面をもとにロールカードを作る ロールカードで練習する	敷浪のぞみ(にほんごNPO)	
5	平成26年11月16日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	5人	中国(1人)、ブラジル(2人)、フィリピン(1人)、ネパール(1人)	依頼に答える	先週学習した内容を振り返る ・依頼するときの丁寧な言い方 ・依頼のストラテジーとその表現方法 身近な場면을提示し、ロールプレイをする 依頼への答え方に注目し、共有する もっといい答え方を話し合う 教科書を見て確認する ペアでロールプレイをする みんなの前で発表する	加藤庸子(にほんごNPO)	

6	平成26年11月23日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	13人	中国(1人)、ブラジル(2人)、アメリカ(1人)、カナダ(1人)、ペルー(2人)、ベトナム(2人)、フィリピン(1人)、ネパール(1人)、インドネシア(1人)	謝罪をする	先週学習した内容を振り返る どんな時に謝罪するか考える 遅刻した時を例に、謝罪の仕方を考える 身近な場面を提示し、ロールプレイをする 相手による謝罪の違いを考える 謝罪の戦略を確認する 戦略を使ってロールプレイをする みんなの前で発表する 謝罪の仕方を共有する	加藤庸子(にほんごNPO)	
7	平成26年11月30日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	10人	中国(1人)、ブラジル(2人)、アメリカ(1人)、カナダ(1人)、ペルー(2人)、ベトナム(2人)、ネパール(1人)	謝罪に答える	先週学習した謝罪の場面を振り返る 相手の謝罪の言葉に対して、どのように答えたらいいか、考える ペアで練習し、発表する もっといい答え方はないか、みんなで考える 教科書で答え方の戦略を確認する ペアで練習する	加藤庸子(にほんごNPO)	
8	平成27年1月11日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	8人	中国(2人)、アメリカ(1人)、ベトナム(2人)、ネパール(1人)、インドネシア(1人)、フィリピン(1人)	誘う	元気に年末年始を過ごしたか確認する 誰かと親しくなりたいとき、楽しく過ごしたいとき、どうすればいいか尋ね、「誘う」という言葉を引き出す どんなことに誘うか、みんなで考える 誰かを誘った経験のある学習者に誘う場面を再現してもらう 誘いの表現を板書し、みんなでもっと工夫したい点を話し合う テキストを参考に、丁寧な誘い方のバリエーションを確認し、練習する 今日の学習を振り返り、来週の学習内容の共通理解をする	加藤庸子(にほんごNPO)	
9	平成27年1月18日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	10人	中国(1人)、アメリカ(1人)、ベトナム(1人)、ネパール(1人)、インドネシア(1人)、フィリピン(1人)、ブラジル(1人)、ペルー(2人)、ホンジュラス(1人)	誘う-誘いに答える(1回目)	自己紹介をする 自己紹介で使われた語彙の確認をする 「誘う」プリントを配布する 誘う人や場面、情報を確認する ペアで誘うときの表現を練習する 「誘いを受ける/断る」プリントをペアの一人に配布する 練習方法について説明する ペアで練習する まとめ	加藤庸子(にほんごNPO)	
10	平成27年1月25日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	10人	中国(1人)、アメリカ(1人)、ベトナム(2人)、ネパール(1人)、インドネシア(1人)、フィリピン(1人)、ホンジュラス(1人)、ブラジル(1人)、ペルー(1人)	誘う-誘いに答える(2回目)	自己紹介をする お互いを知るための会話 新出語彙の確認をする 誘う人や場面、情報を確認する ロールプレイをする 気づいた点について話し合う 教師による講評 教科書で「誘うとき」「誘いに答えるとき」の戦略を確認する まとめ	加藤庸子(にほんごNPO)	
11	平成27年2月1日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	10人	中国(1人)、ベトナム(2人)、ネパール(1人)、ホンジュラス(1人)、ブラジル(2人)、ペルー(2人)、カナダ(1人)	誘う-誘いに答える 申し出る	先週の振り返り 「誘う-誘いに答える」の場面の共有 ロールプレイをする(2組) ロールプレイの感想や疑問点、提案等を言う 教科書で表現を確認する 「誘う-誘いに答える」のまとめ 申し出る表現が使われている会話を聞く どのような表現が使われていたか話し合う いろいろな「申し出る」場面を挙げる 場面を選び、ペアで練習する 来週の活動について	加藤庸子(にほんごNPO)	
12	平成27年2月8日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	8人	中国(1人)、アメリカ(1人)、ベトナム(2人)、ネパール(1人)、インドネシア(1人)、フィリピン(1人)、ホンジュラス(1人)、ブラジル(1人)、ペルー(1人)	申し出る/申し出に答える	先週の活動や「申し出場面」のダイアログの振り返りをする 「申し出」の経験を話し合う ロールカードの場面や状況を共通理解する S同士ペアで練習する 教師は練習の様子を見回り助言助力する 申し出に使われる言い回しを確認する 手伝いを申し出る際の敬語表現の復習をする ペアで練習する 発表する まとめ	加藤庸子(にほんごNPO)	

13	平成27年2月22日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	6人	アメリカ(1人)、ベトナム(1人)、ネパール(1人)、ホンジュラス(1人)、ペルー(1人)、カナダ(1人)	申し出る/申し出に答える	各国の食文化について話し合う 食べられないものを人から勧められた時の答え方について話し合う 熱心な申し出を受け入れる時の言い方について「お言葉に甘えて」の意味・用法の理解と練習 ペアでいろいろな場面を想定して「申し出/応答」の練習をする ロールプレイの発表をする 全員で共有する まとめ	加藤庸子(にほんごNPO)	
14	平成27年3月1日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	9人	アメリカ(1人)、ベトナム(2人)、ネパール(1人)、ホンジュラス(1人)、ペルー(1人)、カナダ(1人)、中国(1人)、ブラジル(1人)	助言する	就職活動の経験について話し合う 新出語彙の意味を確認する 助言場面のダイアログを聞く ダイアログの聞き取り問題を解く 答えを確認する 助言をする際、使われる表現を確認する ペアでいろいろな助言場面を想定して練習する	加藤庸子(にほんごNPO)	
15	平成27年3月8日 9:50～12:00	2時間	市民協働センター	13人	アメリカ(1人)、ベトナム(3人)、ネパール(1人)、ホンジュラス(1人)、ペルー(1人)、カナダ(1人)、中国(1人)、ブラジル(2人)、カナダ1人、インドネシア(1人)	助言する/助言に答える	助言の色々な場面や状況について話し合う 先週の出席者によるロールプレイを聞く 参考になった表現や疑問点、提案等を発表する 板書し、表現の確認をする ペアで練習する 教科書で、助言をする際の注意点を確認する 教室アンケート(言語別のグループで) 下位レベルの学習者の日本語理解を助けるながらアンケートに答える	加藤庸子(にほんごNPO)	

土AM日本語教室(レベル1・にほんご はじめて)

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師氏名	補助者氏名
1	平成26年5月17日 10:00～12:00	2時間	浜松市多文化共生センター	4人	中国(2人) インドネシア(1人) フィリピン(1人)	教室の言葉 挨拶	教室内でのあいさつの言葉と初対面の挨拶の言葉を教え、実践する。漢字はレベル1の表記と使い方の読み練習。	河合世津美(ジャボラNPO)	高橋 ゆき子(ジャボラNPO)
2	平成26年5月26日 10:00～12:00	2時間	浜松市多文化共生センター	5人	中国(1人) インドネシア(1人) フィリピン(3人)	挨拶 家族	前回 挨拶復習 家族の呼び方 家族は何人ですか	河合世津美(ジャボラNPO)	高橋 ゆき子(ジャボラNPO)
3	平成26年5月31日 10:00～12:00	2時間	浜松市多文化共生センター	5人	中国(1人) インドネシア人(1人) フィリピン(3人)	住む	どこに住んでいますか。 ここ そこ あそこ 住所	河合世津美(ジャボラNPO)	高橋 ゆき子(ジャボラNPO)
4	平成26年6月7日 10:00～12:00	2時間	浜松市多文化共生センター	4人	中国(1人) インドネシア(1人) フィリピン(2人)	住む	復習 どこで買いますか。 場所の名称	河合世津美(ジャボラNPO)	高橋 ゆき子(ジャボラNPO)
5	平成26年6月14日 10:00～12:00	2時間	浜松市多文化共生センター	5人	中国(1人) インドネシア(1人) フィリピン(3人)	時間	復習 何時から何時までです。 何時何分 そちら こちら	河合世津美(ジャボラNPO)	高橋 ゆき子(ジャボラNPO)
6	平成26年6月21日 10:00～12:00	2時間	浜松市多文化共生センター	6人	インドネシア(1人) フィリピン(3人) インド(1人)	なにをしますか	今夜、なにをしますか。 昨日 今日 明日 毎朝 毎日 いつ 昨日、テレビをみましたか	河合世津美(ジャボラNPO)	高橋 ゆき子(ジャボラNPO)
7	平成26年6月28日 10:00～12:00	2時間	浜松市多文化共生センター	7人	インドネシア(1人) フィリピン(4人) インド(1人)中国(1人)	いっしょに行きましょう	復習 あした、いっしょにごはんを食べましょう	河合世津美(ジャボラNPO)	高橋 ゆき子(ジャボラNPO)
8	平成26年7月5日 10:00～12:00	2時間	浜松市多文化共生センター	7人	インドネシア(1人) フィリピン(4人) インド(1人)中国(1人)	公共交通機関を利用する(なににいきますか)	どこへ行きますか。 何時に会いますか。なにで行きますか。 駐車料金が～ですよ。	河合世津美(ジャボラNPO)	高橋 ゆき子(ジャボラNPO)
9	平成26年7月12日 10:00～12:00	2時間	浜松市多文化共生センター	7人	インドネシア(1人) フィリピン(4人) インド(1人)中国(1人)	バスに乗る	バスの乗り方がわかりますか。 バスに乗る。降りる。 整理券	河合世津美(ジャボラNPO)	高橋 ゆき子(ジャボラNPO)
10	平成26年7月26日 10:00～12:00	2時間	浜松市多文化共生センター	6人	インドネシア(1人) フィリピン(4人) 中国(1人)	私は友達に電話をかけます。	～を～に～ます(ました)。 あげます・かきます・教えます・書きます・かけます	河合世津美(ジャボラNPO)	高橋 ゆき子(ジャボラNPO)

11	平成26年8月23日 10:00～12:00	2時間	浜松市多文化共生センター	9人	インドネシア(1人) フィリピン(4人) タイ(2人) 中国(1人) ブラジル(1人)	復習 形容詞	いつ、どこへ、だれと行きました。 高い低い 大きい小さい 熱い冷たい 速い遅い (～くない、～です。～じゃない、～です。)	河合世津美(ジャボ ラNPO)	高橋 ゆき子(ジャボラNPO)
12	平成26年8月30日 10:00～12:00	2時間	浜松市多文化共生センター	9人	インドネシア(1人)タイ(2人) 英国(1人) フィリピン(2人) ブラジル(2人) 中国(1人)	形容詞 形容詞否定形	ハンサム おもしろい おいしい にぎやか ～じゃないです、～です。	河合世津美(ジャボ ラNPO)	高橋 ゆき子(ジャボラNPO)
13	平成26年9月6日 10:00～12:00	2時間	浜松市多文化共生センター	5人	中国(1人) ブラジル(1人) フィリピン(3人)	形容詞 形容詞否定形復習	～くて、～です。 ～です。そして～です。 ～で、～です。 ～ですが、～です。 ナ形容詞 イ形容詞	河合世津美(ジャボ ラNPO)	高橋 ゆき子(ジャボラNPO)
14	平成26年9月13日 10:00～12:00	2時間	浜松市多文化共生センター	4人	フィリピン人(2人) 中国人(1人) ベトナム(1人)	形容詞 形容詞否定形	知っています。 知りません。 連休 ～くて、～です。 AとBと どちらが～です。 ～だと思えます。	河合世津美(ジャボ ラNPO)	高橋 ゆき子(ジャボラNPO)
15	平成26年9月20日 10:00～12:00	2時間	浜松市多文化共生センター	4人	中国(1人) ベトナム(1人) フィリピン(1人) ブラジル(1人)	あります います 形容詞復習	「場所」に～がいます。 「場所」に～があります。	河合世津美(ジャボ ラNPO)	高橋 ゆき子(ジャボラNPO)
16	平成26年9月27日 10:00～12:00	2時間	浜松市多文化共生センター	6人	中国(1人) ベトナム(1人) ブラジル(2人) フィリピン(2人)	土曜朝最後の授業を 全員で楽しむ	日本の歌を聴く。 聞きなれた言葉(名詞 動詞 形容詞)発表 絵本の物語	河合世津美(ジャボ ラNPO)	高橋 ゆき子(ジャボラNPO)

土AM日本語教室(レベル2・にほんごを はなそう)

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師氏名	補助者氏名
1	平成26年5月17日 10:00～12:00	2時間	浜松市多文化共生センター	6人	フィリピン(2人)インドネシア(1人)中国(1人)ポーランド(1人)ブラジル(1人)	どんな毎日?～朝ごはんを食べますか～	イラストを見て、二人組でロールプレイをさせる。 毎日の食事について話した。	岩永府子(ジャボラNPO)	中村智美(ジャボラNPO)
2	平成26年5月24日 10:00～12:00	2時間	浜松市多文化共生センター	5人	フィリピン(2人)インドネシア(1人)中国(1人)ポーランド(1人)	毎日何をしますか。どこへ行きますか。	毎日の習慣について質問をする。時刻・時間についての学習。どこへ行くのかのQ&A。	岩永府子(ジャボラNPO)	中村智美(ジャボラNPO)
3	平成26年5月31日 10:00～12:00	2時間	浜松市多文化共生センター	4人	フィリピン(2人)中国(1人)ポーランド(1人)	私の国・町 ○から○までどのくらいですか。	東西南北を学習。例)日本の真ん中にあります。○から○まで、バスで○時間(分)です。	岩永府子(ジャボラNPO)	中村智美(ジャボラNPO)
4	平成26年6月7日 10:00～12:00	2時間	浜松市多文化共生センター	4人	フィリピン(2人)中国(1人)インドネシア(1人)	私の国・町②	私の町は静かです。東京は静かじゃありません。富士山は大きい山です。	岩永府子(ジャボラNPO)	中村智美(ジャボラNPO)
5	平成26年6月14日 10:00～12:00	2時間	浜松市多文化共生センター	5人	フィリピン(2人)インドネシア(1人)中国(1人)ポーランド(1人)	私の国・町③	富士山は高いです。そして、有名です。浜松城公園は小さいですが、きれいです。～はどうですか。	岩永府子(ジャボラNPO)	中村智美(ジャボラNPO)
6	平成26年6月21日 10:00～12:00	2時間	浜松市多文化共生センター	4人	フィリピン(2人)中国(1人)ポーランド(1人)	どうでしたか。①	○をして、それから○をしました。～はどうでしたか。感想を述べる。例)きれいでした。	岩永府子(ジャボラNPO)	中村智美(ジャボラNPO)
7	平成26年6月28日 10:00～12:00	2時間	浜松市多文化共生センター	5人	フィリピン(2人)中国(2人)ポーランド(1人)	どうでしたか。②	どうして～ませんでしたか。高かったですから。(理由を述べる)	岩永府子(ジャボラNPO)	中村智美(ジャボラNPO)
8	平成26年7月5日 10:00～12:00	2時間	浜松市多文化共生センター	6人	フィリピン(2人)中国(2人)ポーランド(1人)インドネシア(1人)	何がしたいですか。	「何がしたいですか。」タスクシート1～7をペアになって質問し合う。言い換えは少し複雑になる。	岩永府子(ジャボラNPO)	中村智美(ジャボラNPO)

9	平成26年7月12日 10:00～12:00	2時間	浜松市多文化共生センター	5人	フィリピン(2人)インドネシア(1人)ポーランド(1人)ブラジル(1人)	今度の休みに	今度の休みにどこかへ行きますか。山へ写真を撮りに行きます。「VIに行きます」の練習をする。	岩永府子(ジャボラNPO)	中村智美(ジャボラNPO)
10	平成26年7月26日 10:00～12:00	2時間	浜松市多文化共生センター	5人	フィリピン(2人)中国(1人)ポーランド(1人)ブラジル(1人)	一緒に行きませんか。	今晚、一緒にご飯を食べませんか。(誘う)OKの返事と上手な断り方を学習する。	岩永府子(ジャボラNPO)	中村智美(ジャボラNPO)
11	平成26年8月23日 10:00～12:00	2時間	浜松市多文化共生センター	5人	フィリピン(1人)中国(1人)ポーランド(1人)ブラジル(2人)	一番好きな物	～で～が一番好きですか。 ～が一番好きです。	岩永府子(ジャボラNPO)	中村智美(ジャボラNPO)
12	平成26年8月30日 10:00～12:00	2時間	浜松市多文化共生センター	6人	フィリピン(2人)中国(1人)ポーランド(1人)ブラジル(1人)インドネシア(1人)	どちら?	前回の復習(一番～) ○と○とどちらが～ですか。(○と○とどっちが～。)	岩永府子(ジャボラNPO)	中村智美(ジャボラNPO)
13	平成26年9月6日 10:00～12:00	2時間	浜松市多文化共生センター	6人	フィリピン(2人)中国(1人)ポーランド(1人)ブラジル(1人)インドネシア(1人)	○より～ですか。	「どちら?」の復習 ○は○より～ですか。	岩永府子(ジャボラNPO)	中村智美(ジャボラNPO)
14	平成26年9月13日 10:00～12:00	2時間	浜松市多文化共生センター	5人	フィリピン(2人)中国(1人)ポーランド(1人)ブラジル(1人)	週末の約束 ○はどこにありますか。(～いますか。)	既習の言い回しを使って会話を成立させる。 ○はあのビルの後ろにあります。交番の前にあります。	岩永府子(ジャボラNPO)	中村智美(ジャボラNPO)
15	平成26年9月20日 10:00～12:00	2時間	浜松市多文化共生センター	5人	フィリピン(2人)中国(1人)ポーランド(1人)ブラジル(1人)	近くに何かありますか。 ～てください。	クイズ形式の会話練習をする。(所在を聞きとる)リスニングで場所を聞き取る。	岩永府子(ジャボラNPO)	中村智美(ジャボラNPO)
16	平成26年9月27日 10:00～12:00	2時間	浜松市多文化共生センター	5人	中国(1人)ブラジル(4人)	特別授業(レベルI・II合同)音楽の町浜松について	日本の歌を聴いたり、物語を聞いたりして、感想を話す。	岩永府子(ジャボラNPO)	中村智美(ジャボラNPO)

漢字教室(はじめて・N5)

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師氏名	補助者氏名
1	平成26年5月17日 18:00～19:00	1時間	浜松市多文化共生センター	4	中国(1名) ポーランド(1名) アメリカ(1名) タイ(1名)	数字の漢字を覚える①	数字の漢字を「一～四」まで学んだ。 (使用テキスト:アルク N5 漢字)	森下 藍(ジャボラNPO)	
2	平成26年5月24日 18:00～19:00	1時間	浜松市多文化共生センター	5	中国(1名) アメリカ(1名) タイ(1名) ベトナム(1名) ペルー(1名)	数字の漢字を覚える②	数字の漢字を「五～十」まで学んだ。 (使用テキスト:アルク N5 漢字)	森下 藍(ジャボラNPO)	
3	平成26年5月31日 18:00～19:00	1時間	浜松市多文化共生センター	5	中国(1名) アメリカ(1名) タイ(1名) ペルー(1名) インドネシア(1名)	読みの学習と数え方を学ぶ	これまでの復習、物や人の数え方の練習。	森下 藍(ジャボラNPO)	
4	平成26年6月7日 18:00～19:00	1時間	浜松市多文化共生センター	7	中国(2名) ポーランド(1名) アメリカ(1名) タイ(1名) ベトナム(1名) ペルー(1名)	レベル1(3/3)の漢字を覚える	漢字「千、日、本、人、中、国」を学習。 (使用テキスト:検定漢字テキスト)	森下 藍(ジャボラNPO)	
5	平成26年6月14日 18:00～19:00	1時間	浜松市多文化共生センター	6	中国(2名) ポーランド(1名) アメリカ(1名) タイ(1名) ペルー(1名)	レベル2(1/3)の漢字を覚える	漢字「何、先、生、学、校」を学習。 (使用テキスト:検定漢字テキスト)	森下 藍(ジャボラNPO)	
6	平成26年6月21日 18:00～19:00	1時間	浜松市多文化共生センター	5	中国(1名) アメリカ(1名) タイ(1名) ペルー(1名) インドネシア(1名)	これまでの復習	これまで習った漢字の書かれたカルタを用意し、ゲーム形式で復習。	森下 藍(ジャボラNPO)	
7	平成26年6月28日 18:00～19:00	1時間	浜松市多文化共生センター	5	中国(1名) アメリカ(1名) タイ(1名) ペルー(1名) インドネシア(1名)	レベル2(2/3～3/3)の漢字を覚える ※3/3は一字だけだったため	漢字「時、書、手、会、社(万、円は以前学習したため省いた)」を学習。 (使用テキスト:検定漢字テキスト)	森下 藍(ジャボラNPO)	
8	平成26年7月5日 18:00～19:00	1時間	浜松市多文化共生センター	4	アメリカ(1名) タイ(1名) ペルー(1名) フィリピン(1名)	レベル3(1/2)の漢字を覚える	漢字「月、火、水、木、金」を学習。 曜日の読み方も取り入れた。 (使用テキスト:検定漢字テキスト)	森下 藍(ジャボラNPO)	
9	平成26年7月12日 18:00～19:00	1時間	浜松市多文化共生センター	4	アメリカ(1名) タイ(1名) ペルー(1名) フィリピン(1名)	レベル3(2/2)の漢字を覚える	漢字「土、今、午、前、後」を学習。 「今日、今週、今月、正午、午前、午後」等熟語の意味確認も含めながら取り組んだ。 (使用テキスト:検定漢字テキスト)	森下 藍(ジャボラNPO)	
10	平成26年7月26日 18:00～19:00	1時間	浜松市多文化共生センター	4	中国(2名) アメリカ(1名) ペルー(1名)	小テスト レベル4(1/3)の漢字を覚える	これまでの復習として、レベル1～3から10問漢字の書きテストを実施した。 その後、漢字「毎、半、分、休、行」を学習。 (使用テキスト:検定漢字テキスト)	森下 藍(ジャボラNPO)	
11	平成26年8月23日 18:00～19:00	1時間	浜松市多文化共生センター	4	中国(2名) アメリカ(1名) ペルー(1名)	レベル4(2/3, 3/3)の漢字を覚える	漢字「茶、及、週、年、名、駅、電、車」を学習。 上記の漢字を含む熟語も練習し、意味を説明した。 (使用テキスト:検定漢字テキスト)	森下 藍(ジャボラNPO)	
12	平成26年8月30日 18:00～19:00	1時間	浜松市多文化共生センター	3	中国(1名) アメリカ(1名) ペルー(1名)	レベル5(1/3)の漢字を覚える	漢字「気、見、聞、読、食」を学習。 熟語、「見る、聞く、読む、食べる」の動詞の意味を確認しながら取り組んだ。 (使用テキスト:検定漢字テキスト)	森下 藍(ジャボラNPO)	

13	平成26年9月6日 18:00～19:00	1時間	浜松市多文化共生センター	3	中国(1名) アメリカ(1名) ペルー(1名)	レベル5(2/3)の漢字を覚える	漢字「飲、買、魚、父、母」を学習。熟語、動詞「飲む、買う」の意味を確認しながら取り組んだ。 (使用テキスト:検定漢字テキスト)	森下 藍(ジャボランPO)	
14	平成26年9月13日 18:00～19:00	1時間	浜松市多文化共生センター	3	中国(1名) アメリカ(1名) ペルー(1名)	レベル5(3/3)の漢字を覚える	漢字「子、語、大、小」を学習。熟語、形容詞「大きい、小さい」の意味を確認しながら取り組んだ。 (使用テキスト:検定漢字テキスト)	森下 藍(ジャボランPO)	
15	平成26年9月20日 18:00～19:00	1時間	浜松市多文化共生センター	3	中国(1名) アメリカ(1名) ペルー(1名)	これまでの総復習① レベル1～3	これまで学習した漢字の読み、書き、熟語の意味の再確認、助数詞の練習。	森下 藍(ジャボランPO)	
16	平成26年9月27日 18:00～19:00	1時間	浜松市多文化共生センター	3	中国(1名) アメリカ(1名) ペルー(1名)	これまでの総復習② (レベル4～5)	これまで学習した漢字の読み、書き、熟語の意味の再確認。	森下 藍(ジャボランPO)	

水夜日本語教室(仕事で使える日本語・N2程度)

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師氏名	補助者氏名
1	平成26年10月8日 19:00～21:00	2時間	クリエート浜松5F	7人	ベトナム(1人) ペルー(2人) フィリピン(4人)	電話を受ける。留守番電話に必要な対応をする。	友人、上司、子供の先生、夫の友人等上下内外関係を想定した電話の対応	河合世津美(ジャボランPO)	中村智美(ジャボランPO)
2	平成26年10月15日 19:00～21:00	2時間	クリエート浜松5F	6人	フィリピン(1人)ベトナム(1人)ペルー(1人)ブラジル(3人)	伝言(留守番メッセージ)	自己紹介(学習の経緯・趣味等)誰が誰に何について伝言してもらいたいのか。【N2の漢字】注意書き・建物の内外でよく見る表示	河合世津美(ジャボランPO)	中村智美(ジャボランPO)
3	平成26年10月22日 19:00～21:00	2時間	クリエート浜松5F	6人	フィリピン(1人)ベトナム(2人)ペルー(1人)ブラジル(2人)	「一緒に行ってみない?」-勧誘-	誰と誰が、何について話しているかを聞き取る。【N2の漢字】駅・乗り物・郵便局・病院で見る表示	河合世津美(ジャボランPO)	中村智美(ジャボランPO)
4	平成26年10月29日 19:00～21:00	2時間	クリエート浜松5F	7人	フィリピン(1人)ベトナム(1人)ペルー(1人)ブラジル(4人)	「一緒に行ってみない?」-勧誘-	前回の復習・上司または友人に対する表現【N2の漢字】自動販売機・自動券売機・ATMに関する漢字	河合世津美(ジャボランPO)	中村智美(ジャボランPO)
5	平成26年11月12日 19:00～21:00	2時間	クリエート浜松5F	9人	ベトナム(1人)ペルー(2人)ブラジル(4人)中国(1人)インド(1人)	ポートフォリオ評価私の国の結婚式国民の行事・習慣	ロールプレイにおいて、テーマに沿って相手の国について質問する。またそれについて説明する。【N2の漢字】リモコン・携帯電話・パソコンに関する漢字	河合世津美(ジャボランPO)	中村智美(ジャボランPO)
6	平成26年11月19日 19:00～21:00	2時間	クリエート浜松5F	3人	ペルー(1人)ブラジル(2人)	「これ、使わせてもらってもいいかなって」-許可-	誰と誰が、何について話しているか、また結果はどうなったかを聞き取る。【N2の漢字】料金、不在通知・払込用紙・ポイントカードなど	河合世津美(ジャボランPO)	中村智美(ジャボランPO)
7	平成26年11月26日 19:00～21:00	2時間	クリエート浜松5F	4人	ペルー(2人)ブラジル(2人)	「これ、使わせてもらってもいいかなって」-許可-復習と続き	聞き取れたスキットを要約し、それについてのディベートを行う。【N2の漢字】ゴミの分別、いろいろな通知	河合世津美(ジャボランPO)	中村智美(ジャボランPO)
8	平成26年12月3日 19:00～21:00	2時間	クリエート浜松5F	3人	ペルー(2人)ブラジル(1人)	許可を求めたり断った時の気持ち	聞き取りをして、内容を確認する。その時の心情を考える。【N2の漢字】伝票、申込書、返事を書く、メール・はがき	河合世津美(ジャボランPO)	中村智美(ジャボランPO)
9	平成26年12月10日 19:00～21:00	2時間	クリエート浜松5F	4人	ペルー(2人)ブラジル(2人)	再度許可を求めたい時の言い方	相手に許可をもらいやすくする為の言い方や許可を与える権限がない場合の言い方。【N2の漢字】ビジネスメール、答案用紙	河合世津美(ジャボランPO)	中村智美(ジャボランPO)
10	平成26年12月17日 19:00～21:00	2時間	クリエート浜松5F	3人	ペルー(1人)ブラジル(2人)	新聞記事を読む	マララさんが、一番伝えたいことは何かを考える。【N2の漢字】作文、問診票、漢字のバズル、体の名称	河合世津美(ジャボランPO)	中村智美(ジャボランPO)
11	平成27年1月7日 19:00～21:00	2時間	クリエート浜松5F	3人	ペルー(1人)ブラジル(2人)	お正月、冬休みの過ごし方	それぞれの国のお正月の過ごし方・洗濯表示について【N2の漢字】家庭用品(ポット・ヒーター・洗剤)	河合世津美(ジャボランPO)	中村智美(ジャボランPO)
12	平成27年1月14日 19:00～21:00	2時間	クリエート浜松5F	3人	ペルー(2人)ブラジル(1人)	情報を聞く、伝える	確かな情報、不確かな情報の伝え方・自分で判断したことを伝える。【N2の漢字】家庭用品(洗剤・薬)、食品	河合世津美(ジャボランPO)	中村智美(ジャボランPO)
13	平成27年1月21日 19:00～21:00	2時間	クリエート浜松5F	3人	ペルー(2人)ブラジル(1人)	依頼・指示をする	どんな依頼や指示を受けたのか、どのように対応したか。【N2の漢字】インターホン、パソコン、広告、チラシ	河合世津美(ジャボランPO)	中村智美(ジャボランPO)
14	平成27年2月4日 19:00～21:00	2時間	クリエート浜松5F	3人	ペルー(1人)ブラジル(2人)	依頼・指示をする(続き)	依頼をする時、断る時の重要表現。指示との違い。【N2の漢字】折り込み広告、広告、地図	河合世津美(ジャボランPO)	中村智美(ジャボランPO)

水夜日本語教室(N5～N4程度)

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師氏名	補助者氏名
1	平成26年10月8日 19:00～21:00	2時間	クリエート5F	5人	ドイツ(1人)イギリス(1人)インド(1人)インドネシア(2人)	自己紹介	新規クラスのため、お互いの自己紹介をしあった。また、人を紹介する場合の話方も練習した。	岩永府子(ジャボランPO)	

2	平成26年10月15日 19:00～21:00	2時間	クリエート5F	5人	ドイツ(1人)イギリス(1人)インド(1人)インドネシア(2人)	健康	病気・怪我の症状を表す言葉を勉強した。また、それぞれの症状に対してアドバイスし合った。	岩永府子(ジャボラNPO)	高橋ゆき子(ジャボラNPO)
3	平成26年10月22日 19:00～21:00	2時間	クリエート5F	7人	インド(1人)ネパール(4人)インドネシア(2人)	家の中	台所やリビングにある物の名前を覚えた。また、身の回りで起きていることを伝える練習をした。	岩永府子(ジャボラNPO)	高橋ゆき子(ジャボラNPO)
4	平成26年10月19日 19:00～21:00	2時間	クリエート5F	8人	インド(1人)ネパール(4人)インドネシア(3人)	人間関係	誰かに親切にしてもらったことについて話した。また、お礼を伝える練習をした。	岩永府子(ジャボラNPO)	高橋ゆき子(ジャボラNPO)
5	平成26年11月12日 19:00～21:00	2時間	クリエート5F	8人	インド(1人)ネパール(4人)インドネシア(3人)	意見・説明	簡単に意見を述べたり、理由を説明したりする練習をした。	岩永府子(ジャボラNPO)	高橋ゆき子(ジャボラNPO)
6	平成26年11月19日 19:00～21:00	2時間	クリエート5F	2人	インドネシア(2人)	町	道順を伝えたり、聞き取ったりするために必要な言葉を学習した。また、道順を説明する練習をした。	岩永府子(ジャボラNPO)	
7	平成26年11月26日 19:00～21:00	2時間	クリエート5F	6人	インド(1人)ネパール(2人)インドネシア(3人)	失敗・事故	自分の失敗や残念に思っていることを伝えることができる。	岩永府子(ジャボラNPO)	高橋ゆき子(ジャボラNPO)
8	平成26年12月3日 19:00～21:00	2時間	クリエート5F	6人	ネパール(3人)インドネシア(3人)	コミュニティー	場所を借りる時など、そのルールを確認することができる。	岩永府子(ジャボラNPO)	高橋ゆき子(ジャボラNPO)
9	平成26年12月10日 19:00～21:00	2時間	クリエート5F	3人	インドネシア(3人)	連絡・情報	相手の都合を聞きながら約束を取り付け、会う日時を決めることができる。	岩永府子(ジャボラNPO)	高橋ゆき子(ジャボラNPO)
10	平成26年12月17日 19:00～21:00	2時間	クリエート5F	2人	インドネシア(2人)	学校・教育	悪い影響を受けたことや、褒められたことなどを話すことができる。	岩永府子(ジャボラNPO)	高橋ゆき子(ジャボラNPO)
11	平成27年1月7日 19:00～21:00	2時間	クリエート5F	2人	インドネシア(2人)	職場	資格や技能など自分の能力について述べるができる。	岩永府子(ジャボラNPO)	高橋ゆき子(ジャボラNPO)
12	平成27年1月14日 19:00～21:00	2時間	クリエート5F	2人	インドネシア(2人)	自然	環境(自然)について描写できる。また、それについてどう思うか述べるができる。	岩永府子(ジャボラNPO)	高橋ゆき子(ジャボラNPO)
13	平成27年1月21日 19:00～21:00	2時間	クリエート5F	3人	インドネシア(2人)ネパール(1人)	変わる	自分自身にあった変化について述べるができる。	岩永府子(ジャボラNPO)	高橋ゆき子(ジャボラNPO)
14	平成27年2月4日 19:00～21:00	2時間	クリエート5F	3人	インドネシア人(2人)ネパール人(1人)	まとめ	今までに学習した表現を使って会話練習を行った。過去の勉強を思い出す形になり、いい復習となった。	岩永府子(ジャボラNPO)	高橋ゆき子(ジャボラNPO)

漢字教室(N4～N3)

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師氏名	補助者氏名
1	平成26年5月17日 18:00～19:00	1時間	浜松市多文化共生センター	8	ブラジル2 ペルー2 インドネシア1 フィリピン1 NZ1 アメリカ1	漢字検定テストN5の内容	日本語能力検定試験N5の内容を学びテストした。Iから千、日本人、中国人、何年生、学校などの読み書きをした。	竹村昇治(ジャボラNPO)	
2	平成26年5月24日 18:00～19:00	1時間	浜松市多文化共生センター	7	ブラジル1 ペルー1 インドネシア1 ベトナム2 NZ1 アメリカ1	漢字検定テストN5の内容	日本語能力検定試験N5の内容を学びテストした。先生、学校、時、万円などの読み書きをした。	竹村昇治(ジャボラNPO)	
3	平成26年5月31日 18:00～19:00	1時間	浜松市多文化共生センター	8	ブラジル2 ペルー1 ベトナム2 NZ1 アメリカ1 フィリピン1	漢字検定テストN5の内容	日本語能力検定試験N5の内容を学びテストした。月、火、水、木、金、土、午前、午後などの読み書きをした。	竹村昇治(ジャボラNPO)	
4	平成26年6月7日 18:00～19:00	1時間	浜松市多文化共生センター	6	ブラジル1 ペルー2 インドネシア1 フィリピン1 NZ1	漢字検定テストN5の内容	日本語能力検定試験N5の内容を学びテストした。半分、休む、行く、来る、友、週、年、駅、電車などの読み書きをした。	竹村昇治(ジャボラNPO)	
5	平成26年6月14日 18:00～19:00	1時間	浜松市多文化共生センター	8	ブラジル2 NZ1 アメリカ1 ペルー2 ベトナム2	漢字検定テストN5の内容	日本語能力検定試験N5の内容を学びテストした。気、見、聞、読、食、飲、買、魚などの読み書きをした。	竹村昇治(ジャボラNPO)	
6	平成26年6月21日 18:00～19:00	1時間	浜松市多文化共生センター	9	ブラジル2 NZ1 アメリカ1 ペルー1 ベトナム3 フィリピン1	漢字検定テストN5とN4の内容	日本語能力検定試験N5とN4の内容を学びテストした。高、安、新、古、白、左右、男女、多少、口、目、耳、田、門、計、紙、糸などの読み書きをした。	竹村昇治(ジャボラNPO)	

7	平成26年6月28日 18:00～19:00	1時間	浜松市多文化共生センター	9	ブラジル3 NZ1 アメリカ1 ペルー1 ベトナム1 フィリピン1 インドネシア1	漢字検定テストN5 とN4の内容	日本語能力検定試験N5とN4の内容を学びテストした。教、室、曜、朝、昼、夜、強、帰。歩、画、牛、馬、肉、茶などの読み書きをした。	竹村昇治(ジャボランNPO)
8	平成26年7月5日 18:00～19:00	1時間	浜松市多文化共生センター	7	ブラジル3 ペルー1 ベトナム1 フィリピン1 インドネシア1	漢字検定テストN5 とN4の内容	日本語能力検定試験N5とN4の内容を学びテストした。兄、姉、弟、妹、家、内、切、理、青、赤、黒、親、町、元、頭、歌、音楽、字、鳥などの読み書きをした。	竹村昇治(ジャボランNPO)
9	平成26年7月12日 18:00～19:00	1時間	浜松市多文化共生センター	6	ブラジル2 NZ1 アメリカ1 ペルー1 フィリピン1	漢字検定テストN5 とN4の内容	日本語能力検定試験N5とN4の内容を学びテストした。公園、図、竹、地、船、雪、雲などの読み書きをした。	竹村昇治(ジャボランNPO)
10	平成26年7月26日 18:00～19:00	1時間	浜松市多文化共生センター	5	ブラジル3 ペルー1 NZ1	漢字検定テストN5 とN4の内容	日本語能力検定試験N5とN4の内容を学びテストした。番、方、線、売、作、知、工場、戸、市などの読み書きをした。	竹村昇治(ジャボランNPO)
11	平成26年8月23日 18:00～19:00	1時間	浜松市多文化共生センター	4	ブラジル2 ペルー1 NZ1	漢字検定テストN5 とN4、N3の内容	日本語能力検定試験N5、N4、N3の内容を学びテストした。春、夏、秋、冬、晴、科、首、用、走、点などの読み書きをした。	竹村昇治(ジャボランNPO)
12	平成26年8月30日 18:00～19:00	1時間	浜松市多文化共生センター	5	ブラジル2 ペルー2 インドネシア1	漢字検定テストN5 とN4、N3の内容	日本語能力検定試験N5、N4、N3の内容を学びテストした。夕、角、声、海、岩、貝などの読み書きをした。	竹村昇治(ジャボランNPO)
13	平成26年9月6日 18:00～19:00	1時間	浜松市多文化共生センター	6	ブラジル4 ペルー1 NZ1	漢字検定テストN5 とN4、N3の内容	日本語能力検定試験N5、N4、N3の内容を学びテストをした。春、夏、秋、冬、晴、科、首、用、走、点などの読み書きをした。	竹村昇治(ジャボランNPO)
14	平成26年9月13日 18:00～19:00	1時間	浜松市多文化共生センター	6	ブラジル3 ペルー1 インドネシア1 フィリピン1	漢字検定テストN5 とN4、N3の内容	日本語能力検定試験N5、N4、N3の内容を学びテストした。新メンバーも加わり学習が進んだ。	竹村昇治(ジャボランNPO)
15	平成26年9月20日 18:00～19:00	1時間	浜松市多文化共生センター	7	ブラジル4 ペルー1 NZ1 中国1	漢字検定テストN5 とN4、N3の内容	日本語能力検定試験N5、N4、N3の内容を学びテストをした。新たに中国人が加わり学習が活気づいた。	竹村昇治(ジャボランNPO)
16	平成26年9月27日 18:00～19:00	1時間	浜松市多文化共生センター	4	ブラジル2 ペルー2	漢字検定テストN5 とN4、N3の内容	日本語能力検定試験N5、N4、N3の内容を学びテストをした。新しい生徒も加わり活気ある教室になった。ただ、今まで来ていた人たちが来なくなっているのが残念である。	竹村昇治(ジャボランNPO)
17	平成26年10月4日 18:00～19:00	1時間	浜松市多文化共生センター	6	ブラジル5 ペルー1	漢字検定テストN5 とN4、N3の内容	日本語能力検定試験N5、N4、N3の内容を学びテストをした。またまた新加入があった。新しい人たちが、いつまでも続けて学習してほしいものだ。	竹村昇治(ジャボランNPO)
18	平成26年10月18日 18:00～19:00	1時間	浜松市多文化共生センター	4	ブラジル1 ペルー1 NZ1 ベトナム1	漢字検定テストN5 とN4、N3の内容	日本語能力検定試験N5、N4、N3の内容を学びテストをした。新たにベトナム人が加わった。学習者たちは、一生懸命学んでいる。	竹村昇治(ジャボランNPO)
19	平成26年10月25日 18:00～19:00	1時間	浜松市多文化共生センター	10	ブラジル5 ペルー2 インドネシア1 インド1 ベトナム1	漢字検定テストN5 とN4、N3の内容	日本語能力検定試験N5、N4、N3の内容を学びテストをした。本日は、過去最高の10名の学習者が出席した。活気あふれる教室になった。皆、真剣に取り組んでいた。	竹村昇治(ジャボランNPO)
20	平成26年11月8日 18:00～19:00	1時間	浜松市多文化共生センター	9	ブラジル4 ペルー2 インドネシア1 ベトナム1 NZ1	漢字検定テストN5 とN4、N3の内容	日本語能力検定試験N5、N4、N3の内容を学びテストをした。レベルの高い学習者、低い学習者それぞれだが、皆一生懸命に学習している。毎日の生活、仕事に生かそうと必死になっている。	竹村昇治(ジャボランNPO)
21	平成26年11月15日 18:00～19:00	1時間	浜松市多文化共生センター	7	ブラジル3 ペルー2 インドネシア1 ベトナム1	漢字検定テストN5 とN4、N3の内容	日本語能力検定試験N5、N4、N3の内容を学びテストをした。寒くなってきたが、7名の学習者が学習に参加した。皆、一生懸命に、しかも楽しく学んでいる。	竹村昇治(ジャボランNPO)
22	平成26年11月29日 18:00～19:00	1時間	浜松市多文化共生センター	6	ブラジル3 ペルー1 ベトナム1 NZ1	漢字検定テストN5 とN4、N3の内容	日本語能力検定試験N5、N4、N3の内容を学びテストをした。前週が休みだったので、今週になり学習者が集まるか不安だったが、6名の常連がやってきて一生懸命学ぶことができた。	竹村昇治(ジャボランNPO)
23	平成26年12月6日 18:00～19:00	1時間	浜松市多文化共生センター	6	ブラジル3 ペルー2 NZ1	漢字検定テストN5 とN4、N3の内容	日本語能力検定試験N5、N4、N3の内容を学びテストをした。この冬一番の寒さの中、6名の学習者が学習に励んだ。NZの学習者は、あすN4の日本語検定テストを受けるとのこと。頑張ってほしい。	竹村昇治(ジャボランNPO)
24	平成26年12月13日 18:00～19:00	1時間	浜松市多文化共生センター	6	ブラジル3 ペルー2 フィリピン1	漢字検定テストN5 とN4、N3の内容	日本語能力検定試験N5、N4、N3の内容を学びテストをした。新しい学習者が一人加わった。フィリピン人である。帰国したとき、日本語が必要とのこと。頑張ってほしいと思う。	竹村昇治(ジャボランNPO)
25	平成26年12月20日 17:30～18:30	1時間	浜松市多文化共生センター	2	ブラジル1 ペルー1	漢字検定テストN5 とN4、N3の内容	日本語能力検定試験N5、N4、N3の内容を学びテストをした。今年最後の学習日であった。外では、雨がたたくくらい降り出席者が少なかった。それでも、懸命に学ぶことができた。	竹村昇治(ジャボランNPO)
26	平成27年1月10日 18:00～19:00	1時間	浜松市多文化共生センター	4	ブラジル2 ベトナム1 NZ1	漢字検定テストN5 とN4、N3の内容	日本語能力検定試験N5、N4、N3の内容を学びテストをした。新しい学習者が来た。ベトナム人とブラジル人である。仕事に使う日本語を身に付けたいとして、このクラスにやってきた。長く続くといいのだが…	竹村昇治(ジャボランNPO)

27	平成27年1月17日 18:00～19:00	1時間	浜松市多文化共生センター	4	ブラジル1 ベトナム2 NZ1	漢字検定テストN5 とN4,N3の内容	日本語能力検定試験N5、N4,N3の内容を学びテストをした。またまた、新学習者がやってきた。ベトナム人である。日本人と友達になりたいとの理由で学習を始めることになった。頑張ってもらいたい。	竹村昇治(ジャボラNPO)
28	平成27年1月24日 18:00～19:00	1時間	浜松市多文化共生センター	5	ブラジル3 ベトナム2	漢字検定テストN5 とN4,N3の内容	日本語能力検定試験N5、N4,N3の内容を学びテストをした。1か月近く休んでいたRさんが復帰した。引越しがあつたり風邪をひいたり大変な時を過ごしたようだ。以前のように頑張ってもらいたい。	竹村昇治(ジャボラNPO)
29	平成27年1月31日 18:00～19:00	1時間	浜松市多文化共生センター	6	ブラジル2 ベトナム4	漢字検定テストN5 とN4,N3の内容	日本語能力検定試験N5、N4,N3の内容を学びテストをした。しばらく休んでいたBさんが学習に復帰した。また、新しい学習者Qさんが加わった。頑張ってもらいたい。	竹村昇治(ジャボラNPO)
30	平成27年2月7日 18:00～19:00	1時間	浜松市多文化共生センター	6	ブラジル3 ベトナム2 インドネシア1	漢字検定テストN5 とN4,N3の内容	日本語能力検定試験N5、N4,N3の内容を学びテストをした。ベトナムのLさん、Qさんが頑張っている。ブラジルのRさん、Gさん、Hさんも負けじと努力している。寒さも峠。春は近い。	竹村昇治(ジャボラNPO)

(7) 参加者の募集方法

各教室で毎月にチラシを作成し(日本語版、英語版、ポルトガル語版)、HICE NEWSとの同封配布、市施設での配架、市内小中学校への配布、HICE掲示板への掲示、HP等で募集を行った。

【日AM日本語教室(第1期、第2期)】

日AM日本語教室(第1期、第2期)の日本語版チラシ。タイトルは「日曜日 にほんご教室」。スケジュールは4月13日・20日(27日やすみ)から9月7日・14日・21日・28日。授業内容は9:50~10:20 かな&かんじ(仮名&漢字(N5~N2))と10:20~12:00 かいわ(会話(入門・初級・中級))。会場は浜松市市民協働センター2階。地図はアクタタワーの周辺を示している。

日AM日本語教室(第1期、第2期)の英語版チラシ。タイトルは「Sunday Japanese Class」。スケジュールは4月13日・20日(27日 No class)から9月7日・14日・21日・28日。授業内容は9:50~10:20 Writing(仮名&漢字(N5~N2))と10:20~12:00 Conversation(会話(入門・初級・中級))。会場はHamamatsu-shi Shimin Kyodo Centre 2nd floor。地図はHamamatsu-shi Naka-ku Chuo 1-chome 13-3の周辺を示している。

日AM日本語教室(第1期、第2期)のポルトガル語版チラシ。タイトルは「Cursos de Japonês no Domingo」。スケジュールは4月13日・20日(Dia 27 - Não haverá aula)から9月7日・14日・21日・28日。授業内容は9:50~10:20 Escrita(仮名&漢字(N5~N2))と10:20~12:00 Conversação(会話(入門・初級・中級))。会場はHamamatsu-shi Shimin Kyodo Centre 2nd andar。地図はHamamatsu-shi Naka-ku Chuo 1-chome 13-3の周辺を示している。

日AM日本語教室(第1期、第2期)の日本語版チラシ。タイトルは「日曜日 にほんご教室」。スケジュールは10月5日・12日・26日(19日やすみ)から3月1日・8日・22日・29日(15日やすみ)。レベル別授業内容はひらがなカタカナ、かんじ漢字、初級会話1-3、中級・敬語。会場は浜松市市民協働センター2階。地図はアクタタワーの周辺を示している。

Sunday Japanese Class FREE ¥0

Sunday 9:50~12:00
First time students registration begins at 9:30.

Let's learn Japanese!

Level 0	Level 1	Level 2	Level 3	Level 4
Hiragana & Katakana	Kanji			
Beginner Japanese	Beginner Conversation 1	Beginner Conversation 2	Beginner Conversation 3	Intermediate & Polite Japanese

Schedule

Oct | 5th, 12th, 26th (On break on the 19th)
 Nov | 9th, 16th, 23rd, 30th (On break on the 2nd)
 Jan | 11th, 18th, 25th (On break on the 4th)
 Feb | 1st, 8th, 22th (On break on the 15th)
 Mar | 1st, 8th, 22nd, 29th (On break on the 15th)

Place: Hamamatsu-shi Shimin Kyodo Centre 2nd floor
 Hamamatsu-shi Naka-ku Chuo 1-chome 13-3
 Tel: [Redacted] (かとう) (しきなみ)

平成26年度文化庁「生活者としての外国人」のための教育事業 浜松市日本語教育連携推進事業
 主催 公益財団法人浜松国際交流協会 (HICE)
 協力 NPO法人浜松日本語・日本文化研究会 (にほんごNPO)

Cursos de Japonês no Domingo Grátis ¥0

Domingos 9:50~12:00
Na primeira dia de inscrição, favor comparecer às 9:30 hrs.

Vamos aprender japonês!

Nível 0	Nível 1	Nível 2	Nível 3	Nível 4
Hiragana & Katakana	Kanji			
"Hajimete no Nihongo"	Conversação para Iniciante 1	Conversação para Iniciante 2	Conversação para Iniciante 3	Intermediário e Linguagem polida

Programação

Mês	Dias letivos
Outubro	5, 12 e 26
Novembro	9, 16, 23 e 30
Janeiro	11, 18 e 25
Fevereiro	1, 8 e 22
Março	1, 8, 22 e 29

Local: Hamamatsu-shi Shimin Kyodo Centre 2nd andar
 Hamamatsu-shi Naka-ku Chuo 1-chome 13-3
 Tel: [Redacted] (かとう) (しきなみ)

平成26年度文化庁「生活者としての外国人」のための教育事業 浜松市日本語教育連携推進事業
 主催 公益財団法人浜松国際交流協会 (HICE)
 協力 NPO法人浜松日本語・日本文化研究会 (にほんごNPO)

【土AM日本語教室】

平成26年度文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 浜松市日本語教育連携推進事業
 浜松市日本語教育連携推進事業

さあ！ にほんごを べんきょうしよう
Nihongo no Benkyoo

5月17日 土曜日 スタート!!!
 5gatsu 17nichi Doyoobi Start!!!

5月 17日 24日 31日
 6月 7日 14日 21日 28日
 7月 5日 12日 19日 26日

むりょう ¥0

10:00-11:30	にほんご はじめて Nihongo hajimete
	にほんご すこし Nihongo sukoshi
11:30-12:00	N3-N5 JLPTかんじ N3-N5 JLPT kanji

場所: HICE (クリエイート浜松4F) HICE (Create Hamamatsu 4F)
 浜松市中区早馬町2-1 Hamamatsu shi Naka-ku Hayaumacho 2-1
Access: <http://www.hi-hice.jp/aboutus/access.html>

河合 (Kawai) : [Redacted]
 岩永 (Iwanaga) : [Redacted]

所属: JABORA NPO

主催 公益財団法人浜松国際交流協会(HICE) 協力 NPO法人日本語教育ボランティア協会(ジャボリアPO)

にほんご きょうしつ



どようび あさ
HICE
 (クリエート浜松 4F)

	10:00~11:20	11:20~12:00
レベル1	にほんご はじめて ※はじめてのひと	ひらがな・カタカナ はじめてのかんじ
レベル2	にほんごを はなそう ※すこしわかるひと	かんじ (N5~N4)

河合 (KAWAI) : [Yellow Box] 所属: JABORA NPO
 岩永 (IWANAGA) : [Yellow Box]

主催:公益財団法人浜松国際交流協会(HICE) 協力:JPO法人日本語教育ボランティア協会(ジャボレポ)

CURSO DE JAPONÊS



Sábados de manhã
HICE
 (Predio Create 4F)

	10:00~11:20	11:20~12:00
Nível 1	Aula de japonês para Iniciais ※PARA INICIANTES	HIRAGANA・KATAKANA・ INICIANTES
Nível 2	Curso de Conversação ※PARA INTERMEDIARIOS	KANJI (N5~N4)

河合 (KAWAI) : [Yellow Box] 所属: JABORA NPO
 岩永 (IWANAGA) : [Yellow Box]

主催:公益財団法人浜松国際交流協会(HICE) 協力:JPO法人日本語教育ボランティア協会(ジャボレポ)

【漢字教室】

かんじ きょうしつ



どようび あさ・よる
HICE (クリエート浜松 4F)

あさ	10:00~11:20	11:20~12:00
レベル1 ※高校生からOK	かんじ やりなおし (小学生でいどのかんじ)	日本語 Q&A
レベル2 ※はなせるが、かんじだけ かんじようしたい人	かんじ (N3ていど) 日本語能力試験を目指したい人など	日本語 Q&A
よる	18:00~19:00	
レベル1	かんじ はじめて (N5)	
レベル2	かんじ (N4~N3)	

河合 (KAWAI) : [Yellow Box] 所属: JABORA NPO
 岩永 (IWANAGA) : [Yellow Box]

主催:公益財団法人浜松国際交流協会(HICE) 協力:JPO法人日本語教育ボランティア協会(ジャボレポ)

Aulas De Kanji



Sábado de manhã e à noite
HICE (PREDIO CREATE 4 F)

DE MANHÃ	10:00~11:20	11:20~12:00
Nível 1 ※ESTUDANTE ENSINO MEDIO OK	Recomeçar Kanji (Kanji nível ensino fundamental)	Japonês Q&A
Nível 2 ※Sabe falar mas quer estudar Kanji	Kanji (N3ていど) Nível de estudo para o Teste de proficiência da Língua Japonesa	Japonês Q&A
A NOITE	18:00~19:00	
Nível 1	Iniciantes de Kanji (N5)	
Nível 2	Kanji (N4~N3)	

河合 (KAWAI) : [Yellow Box] 所属: JABORA NPO
 岩永 (IWANAGA) : [Yellow Box]

主催:公益財団法人浜松国際交流協会(HICE) 協力:JPO法人日本語教育ボランティア協会(ジャボレポ)

平成19年度から「英語を話して外国人」の外国人労働者に対する
外国人労働者に対する日本語教育

しごとで つかえるにほんご



すいようび よる
HICE (クリエート浜松 5F)
お金：むりょう
※漢字テキストとノート代 400円

日にち	10/8, 15, 22, 29 11/12, 19, 26 12/3, 10, 17 1/7, 14, 21 2/4 (全14回)	
時間	19:00 ~ 19:45	19:45 ~ 21:00
基礎コース	漢字 ※N5~N3レベル	にほんご ※N5レベル程度~N4を目指す人
仕事の日本語コース	漢字 ※N2~N1レベル	仕事で使える日本語

河合 (KAWAI) : [Redacted] 所属: JABORA NPO
岩永 (IWANAGA) : [Redacted]

主催:公益財団法人浜松国際交流協会(HICE) 協力:JPO法人日本語教育ボランティア協会(ジボボJPO)

平成19年度から「英語を話して外国人」の外国人労働者に対する
外国人労働者に対する日本語教育

Japonês utilizado no trabalho



todas as quartas, no período da noite
no Create Hamamatsu 5º andar
GRATUITO *Despesas com livro de kanji e caderno de anotação à parte

Data:	Oct. 8, 15, 22, 29 Jan.7, 14, 21	Nov. 12, 19, 26 Feb.4	Dec.3, 10,17 (Total de 14 aulas)
	19:00 ~ 19:45	19:45 ~ 21:00	
Curso básico	Kanji *Níveis N5~N3	Japonês *Que se aprende no N5, e para quem almeja o N4	
Curso de Japonês utilizado no trabalho	Kanji *Níveis N2~N1	Japonês utilizado no trabalho	

河合 (KAWAI) : [Redacted] 所属: JABORA NPO
岩永 (IWANAGA) : [Redacted]

主催:公益財団法人浜松国際交流協会(HICE) 協力:JPO法人日本語教育ボランティア協会(ジボボJPO)

平成19年度から「英語を話して外国人」の外国人労働者に対する
外国人労働者に対する日本語教育

Workplace Japanese



Wednesday Evenings
@CREATE Hamamatsu, 5F
FREE (separate fee for kanji textbook and notebook)

Date:	Oct. 8, 15, 22, 29 Jan.7, 14, 21	Nov. 12, 19, 26 Feb.4	Dec.3, 10,17 (14 sessions)
	19:00 ~ 19:45	19:45 ~ 21:00	
Basic Course	Kanji *N5-N3 level	Japanese *around N5 level, people aiming for N4	
Workplace Japanese	Kanji *N2-N1 level	Workplace Japanese	

河合 (KAWAI) : [Redacted] 所属: JABORA NPO
岩永 (IWANAGA) : [Redacted]

主催:公益財団法人浜松国際交流協会(HICE) 協力:JPO法人日本語教育ボランティア協会(ジボボJPO)

(8) 特徴的な活動風景(2~3回分)

【第1期日AM日本語教室】

平日昼間の教室と日曜AMの教室で、教室連携ができるか探った。週1回の教室開催状況を確認し、学習者にとってどのような教室が望ましいか検討した。

【振り返り会議】

期の終了後、日AM教室担当教師(にほんごNPO所属)とHICEコーディネーターで振り返り会議を行った。担当教師からは、授業を行ううえでの課題や改善案があがり、コーディネーターからは見学で感じた体制についての課題と改善案を出した。

【第2期日AM日本語教室】

振り返り会議で上がった課題を改善し、教室活動を行った。コーディネーターが専任できるよう教室数を減らしたり、テキストを導入したりと工夫した。

【土AM日本語教室】

1週間を通じて、各曜日日本語教室が開催されるように、土AM日本語教室を新規に立ち上げた。この時間は、近隣の会場で、子どものための母語教室が開催されており、その保護者を主たる対象とした。

【振り返り会議】

期の終了後、土AM教室担当教師(ジャボラNPO所属)とHICEコーディネーターで振り返り会議を行った。土曜日の夜間にも同じ学習レベルの日本語教室が開催されているため、設定レベルを変えるなり、曜日を変えるなり、幅広く機会を作ったほうが良いという提案があった。

【水夜・仕事で使える日本語教室】

景気回復のきざしを鑑みて、仕事をするうえで必要な日本語を学べる講座を開講した。日本語に対する知識は豊富だが、職場で使われているような自然な日本語に慣れていない中級～上級者向けの教室を設定した。



(9) 取組の目標の達成状況・成果

【日AM日本語教室】

学習者個票をとり、学習者の背景やニーズを調査することができた。これにより、教室の現状の把握ができ、改善案を検討することにつながった。HICEが開発したHAJACインタビューテストをプレースメントテストで取り入れたことにより、学習者のレベルの振り分けがしやすくなった。振り返りを行うことにより、前期の課題を後期で改善するという流れがじょじょにできてきた。教室全体の統一性を持たせるため、テキストを導入したのは大きな変化である。その他、にほんごNPO所属の教師の方々へアンケートを実施し、担い手側の感じている課題や今後行いたい研修内容等を知ることができた。

【土AM日本語教室】

学習者がなかなか増えなかったが、出席率は非常に良かった。講義補助者がついていることで、ゼロレベルの学習者に丁寧に対応することができた。

【水夜・仕事で使える日本語教室】

1期の振り返りをもとに、仕事で使える日本語教室を開講することにした。すでに事務職や介護職で働いている人でも自身の日本語が足りないと悩み、さらなるスキルアップを目指していることがわかった。

【日本語教師対象アンケート集計結果】

■ 今年度の日本語教室と昨年度の日本語教室で変わったところがありましたか？詳しく書いてください。

- ・漢字の勉強をしたいという要望に応えることができて、学習意欲がアップした人が増えたことがよかった。漢字のクラスは以前実施されていたこともあったが、全てのレベルの学習者に対応できるスタイルではなかった。それぞれのペースで取り組めるところも多様な学習者が集まるこの教室にあった。
- ・去年は会話だけのクラスだったが、今年度は識字クラスを設けた。
- ・共通の教科書を使用するようになり、学習者が自宅で予習・復習ができるようになり、よかったと思う。
- ・漢字学習を始めたことも、学習者の意欲向上につながっている気がする。(自分で漢字を練習し、テストを受け、合格するとレベルが上がっていく＝目に見える成果がある)
- ・学習者が増えた
- ・漢字の時間を活用する学習者が、徐々に減った
- ・識字クラス(ひらがな、カタカナ)がなくなった。HICEの検定漢字テキストを使った30分間の漢字の時間(漢字練習、テスト、採点)ができた。
- ・ファイル共有サイトにより、情報(出席簿、報告書、教案、ワークシート、インタビュー音源、カリキュラム、インタビュー結果等)を共有した。インタビュー結果一覧や国別の統一出席簿により、全体の学習者の進捗状況が把握できた。

■ 第1期(4月～9月)と第2期(10月～3月)で変わったところがありましたか？詳しく書いてください。

- ・第1期はテキストはなかったが、第2期は、学習者に「まるごと(かつどう)」を購入してもらい、授業で使用した。
- ・1回のクラスの参加人数が、第1期より第2期のほうがかなり多かった。担当したクラスを例にあげると、第1期の1回の平均が8人(最多13人、最少6人)であるのに対し、第2期の平均は14人(最多19人、最少8人)であった。
- ・第2期ではテキストを使用したので、その日にやるべきこと、その期を通してやるべきことが明確で教師側としては教案が作りやすく、学習者側も予習してくる人がいたのが良い点だったと思う。また、継続してくる学習者も前期より多かった。
- ・反面、その日の課を終わらせることに追われ、説明が長くなってしまったり、生活場面との結びつきが弱かったり、教授上の反省点が多かった、テキストを学習者に買わせた以上は授業でなるべくテキストを有効に使わなければとの思いにとらわれたが、結果、有効に活用することが難しかった。
- ・共通の教科書の利用
- ・ベトナム人学習者が増えた
- ・生活者よりも実習生などの利用が増えた気がする(新規学習者)
- ・第1期はオリジナルワークシート、第2期はテキストを使用
- ・前期は継続して来ている学習者が多く、学習者同士(特にインドネシア人)もとても仲良くにぎやかだった。後期になり担当が変わったので、前期の雰囲気がかめずいた。後期の学習者(レベル0)はあまり国籍も属性も偏らず来日初期でもないが、識字に関しては滞在年数はあまり関係ないことがあらためてわかった。

■ 教室内容について改善したい点がありますか？それはなぜですか？

① 授業内容について

- ・以前のかなクラスのようにスパンを少なくとも3ヶ月にしたい。当初、4回でひらがな修了という計画をしたが、「カタカナもやりたい」「まだ話せないのに上のクラスに行くのは心細い」という声が学習者からあがったので。(レベル0)
- ・半期で1冊の教科書を消化するのはクラスレベルによっては難しい。低いレベルのクラスほど、前回学習した内容を次の授業で復習、応用し定着させることが必要なのでは？
- ・テキストを使うことは利点が多いと思う。クラスの定員がなく、途中からの学習者も積極的に受け入れるならば、学習者にテキストを購入させるのではなく、教材費を徴収して、その日に学ぶ課の該当箇所をコピーして配布したほうがよいと思う。その際は、テキストの目次などを最初に配布して、その期で学ぶ内容をあらかじめわかるようにした方がよいと思う。
- ・カリキュラムやテキストに従って、授業内容を決めた。第2期は、1回の授業でテキストを1課(または2課)ずつやったので、活動内容が多くなってしまったこともあった。学習目標を絞り、シンプルな授業を心がけたい。

② 教授方法について

- ・コーラスや口慣らしのような練習だけでなくリアルなコミュニケーションの機会をふやしたいと考えているので、文字タイムが終了して以降の時間帯に新しい学習者を送りこむのを控えるか、初回は見学のように案内して参加してもらえるとよい。

・1教によって教えかたの違いを把握し、参考にしたい

- ・人数によつて教えるのをこのようにするのは難しい
- ・会話を教えるのは人数が多いと難しい
- ・学習者の発話をもっと引き出す授業にしたい。そのためにも文法の導入や練習の仕方を改善し、場面に合った表現やフレーズを中心にした従来のやり方を今一度取り入れなおした方がよいと思った。
- ・10人前後の少人数であれば、授業とは別に1つのテーマでゆっくりする時間を設けたい。普段生活する上でこんなときにどう言えばいいのかとか、日本の習慣で疑問に思っていること、知りたい情報などを学習者がテーマを考えて、様々な情報交換ができればいいと思うが、1時間半では授業だけで精一杯になってしまう。
- ・定型ではない会話がができるような展開をさせたい
- ・教案とワークシートに沿って授業を進めた。ロールプレイやペアワークなどを取り入れたが、全体を通して、学習者一人ひとりの発話量が少なかったと思う。発話が増える活動を考えたい。

③ 学習者について

- ・ニーズやウォンツを知るためにも、学習者について知る機会が担当者にも欲しい。学習者情報が担当に十分伝わっていない。
- ・定員は15人前後を1クラスの定員にしてほしい。20人近くになる場合は細やかに対応するために指導者は2人体制がよい。
- ・会話1～2が最も人数が多く、学習者の日本語レベルも一歩上へ行くための指導や勉強が大切な段階なので2クラスに分けるなど、細やかにケアできると良い(上達につながると思う)。
- ・日曜日は仕事を持っている学習者が多く、短期の出張者なども受け入れている一方、長期生活者も混在しているので、学習者のニーズに合った授業になっているか疑問である。人数の変化も対応が困難だが、レベルや目標の違いも対処が難しい。
- ・クラスの人数
- ・1年以上同じレベルのクラスにいる人、レベルチェックでこのクラスと判定された人、ときどき来る人、皆勤の人など様々であった。期間途中に入ってくる新規学習者も意外に多く、クラスの人数が安定しなかった。
- ・出席率が高いがテキスト購入に消極的な学習者が数名いた。

④ 庶務について

- ・学習者の意志を尊重してクラスの移動や希望を采配していければ。インタビューで決められたレベルで満足する学習者ばかりではないと思う。希望がある場合にも誰に伝えたらいいのか、ジャッジは誰がするのか不明確。
- ・後期になって、インタビューが終わった新規学習者にあらかじめ名札を作っておいたり、いきなり参加ではなく見学するなどの対応をしていただき、とても助かった。
- ・漢字テストの残部をチェックできるようにしたい
- ・手が空いている人が臨機応変に対応していた

■ 今後、どのようなスキルアップ講座を受講してみたいですか？

- ・外国語講座(インドネシア語など)
- ・HAJACインタビュー評価者講習 (3人)
- ・初級学習者に向けた会話授業
- ・効果的な板書、教材
- ・スキルアップのために他の教師の方々の日本語授業を実際に見る機会が欲しい
- ・教授法
- ・地域の日本語活動を活性化させる役割を持つ人材育成講座
- ・実習生が必要としている日本語
- ・専門性のある職種での就労を目標としている学習者へ情報提供をするための知識
- ・第二言語習得論
- ・会話の働きかけ方、手の運び方等

■ 今後、団体としてどのような活動をしていきたいですか？

- ・生活者の中でも滞在が長い学習者はこれから「高齢化」「孤立化」が心配になってくる。社会とつながる居場所になるような教室も必要だと思う。
- ・子育て中の学習者を対象とした日本語教室で、子どもを連れて参加でき、子育て情報が交換できたり、子どもと一緒に漢字や歌などが学べる教室をやりたい。
- ・地域の学習者がひとりでもできることを増やす
- ・いままでと同様、地域で暮らす外国人に、身近な公共施設を利用して日本語教室を提供する。日本語教室を通じて、学習者の社会参加を促す手助けをする。
- ・団体内で教室の整合性がとれているのか確認したい。
- ・学習者が学びたいことを教室に反映させたい。
- ・一番上のクラスの学習者の一緒にクラスを作る仲間として巻き込めるような体制を作りたい。

■ 今後、どのような日本語教師になりたいですか？

- ・相手の文化を尊重した上で、日本の文化を理解してもらえるように努力したい。日本語教育の知識や経験を積み上げて行きたい。
- ・企業と実習生をつなげる
- ・大学進学希望の留学生を教える一方で、地域の生活者と長く付き合えるような教師になりたい
- ・学校現場と外国人家族、外国人の両親と子どもをつなぐサポートもできる日本語教師
- ・今後、続けるかどうか迷っている
- ・日本語教師として支援するだけでなく、「多文化共生」の理念やそのような活動に、より多くの日本人を巻き込むためのファシリテーターの役割ができるようになりたい。

■ HICEに期待することは何ですか？

- ・HICEに行けばいろいろな情報が集約されているという認識を皆が持つよう、広くいろいろな活動に目を向けていただきたい。様々な団体の情報の収集も必要だと思う。
- ・地域に暮らす外国人と日本人との交流を促す場の提供
- ・JF「みんなの教材サイト」のようなサイトを、HICEに期待する

■ その他、お気付きの点やご要望などご自由にお書き下さい。

- ・風通しの良い教室なので、来年度も見学に来てください。
- ・イベントのちらしに地図を載せてほしい

・研修は、市内中心部でやってほしい。U-ToCは遠い。

- ・安価で使える場の提供を切にお願いしたい。市内各所からの便利の良い場所であるのも重要。
- ・日本語教師ネットワークがあるとよい。立食パーティー等。
- ・他団体の情報があると、学習者に利便性の良い教室が紹介できる

(10) 改善点について

土日、夜間の教室では、その時間帯を担う日本語教師の数が潤沢ではなく、身分も不安定なことから人材を確保することが非常に困難である。また、地域に必要とされる日本語教育も多様化が進み、現状を見極め対応できる日本語教師を増やすとともに、彼らが持続的に活動できる体制を整えることが喫緊の課題である。

技能実習生への対応にとまどいを覚えながら教室を開講する現状がよくわかった。例えば、日AM教室の場合、教室に申し込みに来た技能実習生の学習ニーズを聞き取り、必要に応じて有料の日本語能力試験対策クラスを薦めるが、(1回500円であっても)「高い」と言って拒否するケースがままあった。その場合、HAJACインタビューテストを行いクラスに振り分けていくが、定住者の日本語の特徴と技能実習生のそれとは違うので、教室内での対応が難しい。また、技能実習生が多数を占めるクラスにおいては、短期滞在の彼らのニーズにあわせて授業を進めることにジレンマを感じる教師も少なくない。その他、技能実習生を伴って教室に来る企業への対応が非常に難しい。有料で日本語教師の派遣ができることを説明するも、そうではなく無料の本教室に実習生を送迎する企業もあった。企業の責任と地域日本語教室のできることにについて、議論を深めていくことが必要である。

○取組3: 日本語教育シンポジウム「写真で語る私の歴史～これまでの私とこれからの私～」

(1) 体制整備に向けた取組の目標

日本語教育関係者、外国人当事者・関係者の参加はもとより、広く一般市民へも呼びかけを行ない、日本語教育の必要性への理解を促進する。

(2) 取組内容

浜松市日本語教育推進会議出席者に呼びかけ、イベント実行委員会を立ち上げる。企画運営から開催を通じて、日本語学習支援団体間の連携を深める。イベントを本事業の成果発表の場として位置づけ、日本語教育関係者、外国人当事者の参加はもとより、行政、地域住民等に参加を呼びかけ日本語教育の必要性への理解を促進する。

(3) 対象者 一般市民

(4) 参加者の総数 513人

出身・国籍別内訳

中国	2人	インドネシア	人
韓国	人	タイ	人
ブラジル	3人	ペルー	1人
ベトナム	1人	フィリピン	1人
ネパール	人	日本	505人

(5) 開催時間数(回数) 6 時間 (全4回)

(6) 取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成26年5月30日(金) 14:00~15:30	1.5時間	浜松市多文化共生センター	7人		第1回実行委員会	・講演会やパネルディスカッションのような座学形式ではなく、交流ができる参加型イベントを検討 ・日本語スピーチコンテストが提案される。テーマ、レベル分け、本音の語れる場にするためのしつけ等を検討	出席者 加藤庸子(にほんごNPO) 河合世津美(ジャボラNPO) 松葉優子(With U-Net) 趙驕陽(中国文化交流会) 西崎稔(静岡県ベトナム人協会) 藤井ロドリゴ(NPOブラジル文化振興会)	

2	平成26年9月22日(月) 14:00～15:30	1.5時間	浜松市多文化共生センター	7人		第2回実行委員会	・日本語スピーチコンテストを発展させた、フォト・ストーリーテリングに決定。 HICEグローバルフェア内のホールイベントの一つとして開催することにより、集客を望む。日時会場決定。 「なぜ私はここにいるのか」をテーマとする。 発表者人選について検討。国籍に偏りがないように。	出席者 加藤庸子(にほんごNPO) 河合世津美(ジャボラNPO) 松葉優子(With U-Net) 趙驕陽(中国文化交流会) 西崎稔(静岡県ベトナム人協会) 藤井ロドリゴ(NPOブラジル文化振興会) 山浦優子(NPOフィリピンナガイサ)	
3	平成26年12月8日(月) 14:00～15:30	1.5時間	浜松市多文化共生センター	7人		第3回実行委員会	・各団体より発表者を推薦。最終発表者を調整した。 また、発表者の作文、パワーポイントでの発表形式作成をサポートする人を、各団体から出すことを同意。 ・本番までのスケジュール確認、前日の準備、リハーサル、当日の役割分担について検討。 ・発表後の交流会について企画。	出席者 加藤庸子(にほんごNPO) 河合世津美(ジャボラNPO) 松葉優子(With U-Net) 趙驕陽(中国文化交流会) 西崎稔(静岡県ベトナム人協会) 藤井ロドリゴ(NPOブラジル文化振興会) 山浦優子(NPOフィリピンナガイサ)	
4	平成27年2月15日(日) 10:10～11:40	1.5時間	クリエート浜松2F	ホール 320人 交流会 180人		写真で語る私の歴史	浜松に住む外国人住民が、貴重な写真とともに自らの歴史を振り返るイベントを行う。外国人住民がそれぞれに歩んできた道のりを写真を使って語り、次世代の若者や子どもたちへ浜松定住の歴史を伝える機会とする。ホスト側に立つ日本人社会に対しては、外国人のことを身近に感じることによって多文化共生社会の意義を理解する機会とする。	発表者 高井マリー(NPOフィリピンナガイサ) 三井新一(中国文化交流会) 椎木豊美 マリーナ(セメンチ・バラ・オ・フウーロ) 藤井ロドリゴ(NPOブラジル文化振興会) 山田明(静岡県ベトナム人協会) エドワルド・ルーダス・リペロ(ジャボラNPO) 内山ワリソン(ジャボラNPO)	

(7) 参加者の募集方法

チラシを作成し、HICE NEWSとの同封配布、市施設での配架、市内中学校への全生徒配布、県西部地区高等学校への全生徒配布、中日新聞への事前告知記事掲載、HICE掲示板への掲示、HP、Facebook等で募集を行った。



写真で語る私の歴史
～これまでの私とこれからの私～

私は日系3世です。ブラジルでは、親戚の伝統文化を継ぐ事も重要で思いました。クリスマスは祝わない、お正月が最重要行事、結婚相手は親戚本人だけ、唯一好きなブラジル文化はのり寿司を焼くこと。ブラジルで生きていくためには必要だったからです。

2015年2月15日(日) 10:00～11:40
クリエイティブ2Fホール



浜松に住む外国人住民が、貴重な写真とともに自らの歴史を振り返ります。
なぜ私はここにいるのか。私は未来に何を残すのか。
一緒に思いを巡らせてみませんか？



日時：平成27年2月15日(日)
10:00～11:10 本報告会 (日本語) 浜松財団法人浜松国際交流協会(主催) 市川(共催) 会場：クリエイティブ2Fホール
フォトストーリーリング (写真を使った語り) ティータイム 贈り物 (1名につき1枚の写真をテーマに、思い、未来を語り、誰かに伝えるメッセージのカードを作成していただきます) ●橋本 貴美子 (ブラジル) ●山田 隆 (ベトナム) ●藤井 マリ (フィリピン) ●エドワード・ルイス・リベロ (ベトナム) ●三井 新一 (中国) ●内山 ワシントン (ブラジル)
11:10～11:40 報告者との交流会 (22 講座) 自由参加。お茶、軽食をご用意。質疑応答も受け付けます。お話し、聞き、思いを巡らす、交流の場です。お申し込みは、お電話にてお申し込みをお願いします。

会場：クリエイティブ2Fホール
入場：無料

第5回はままつくろーりんぐフェア ノーレイベント
写真で語る私の歴史～これまでの私とこれからの私～
平成27年 2月15日(日) 10:00～11:40 会場：クリエイティブ2Fホール
主催：浜松財団法人浜松国際交流協会 共催：市川 隆 後援：市川 隆 協賛：市川 隆
公益財団法人浜松国際交流協会 事務局浜松市中区草花町2-1 クリエイト浜松 4F
Tel.053-458-2170 Fax.053-458-2197

MY HISTORY TOLD THROUGH PHOTOS
～MY PAST SELF, MY FUTURE SELF～

I am third-generation Japanese. I was raised in Brazil, in a family that strongly protected Japanese traditional culture. No dairy? I celebrate Christmas. New Year? It was our most important festival. Marriage was to other Japanese people only. The only part of Brazilian culture that was permitted, was speaking Portuguese. That was because it was necessary to go on living in Brazil!

FEB 15 (SUN) 2015, 10:00AM-11:40AM
CREATE HAMAMATSU 2ND FLOOR HALL

Foreign residents living in Hamamatsu look back on their precious photos and their own history. Why are I here? What can I give to the future? Let's think about these questions together.

WHEN: Feb 15 (Sun.) 2015
10:00 - 10:10 Greetings from the organizer (Hisako Ishikawa Kiara, HICE) Speech by guest of honor, Mayor of Hamamatsu.
10:10 - 11:10 Photo Storytelling (LALAL) Photo, Video, or Presentation. They bring photos from their memories with their stories, and they will be presented to the audience. ●Hideo Toyama (Brazil) ●Fujii Eudage (Brazil) ●Fusa (Brazil) ●Mark (China) ●Ryota (Brazil) ●Hideo (Brazil) ●Hisako (Brazil) ●Hisako (Brazil) ●Hisako (Brazil)
11:10 - 11:40 Exchange and talk with the organizers (optional) A chance to share memories, discuss the past and the future of our lives for the future. There will be a refreshment break and a gift exchange at the end of the event.
WHERE: Create Hamamatsu 2nd Floor Hall
COST: FREE

5TH HAMAMATSU GLOBAL FAIR HALL EVENT
MY HISTORY TOLD THROUGH PHOTOS ~ MY PAST SELF, MY FUTURE SELF ~
2015 Spring for Cultural Affairs, Promoting Spoken Language Education for Portuguese / Hamamatsu Spoken Language Education Foundation

Hamamatsu Foundation for International Communications and Exchange (HICE)
Hamamatsu, 430-0822, Shizuoka, Hamamatsu, 43-1, CREATE Hamamatsu, 4F
TEL. 053-4582170 FAX. 053-4582197

FOTOS QUE CONTAM A MINHA HISTÓRIA
- O ATUAL MOMENTO E DAQUI PARA FRENTE -

Sou descendente da terceira geração japonesa. No Brasil, eu cresci em uma família que mantinha a tradição cultural da Japão. Não leite? Eu comemoro o Natal. O Ano Novo era o nosso momento mais importante e o casamento sempre entre descendentes japoneses. Em relação à cultura brasileira, apenas um permitido o uso da língua portuguesa, por ser necessário para se viver no Brasil.

DIA 15 DE FEVEREIRO DE 2015 (DOMINGO), DAS 10:00 ÀS 11:40 HORAS
NO CREATE HAMAMATSU (AUDITÓRIO DO 2º ANDAR)

Estrangeiros residentes na cidade de Hamamatsu, lembrando as suas próprias histórias com fotos raras. Por que eu estou aqui? Como será o meu futuro? Que lá refletirmos juntos?

WHEN: Feb 15 (Sun.) 2015
10:00 - 10:10 Greetings from the organizer (Hisako Ishikawa Kiara, HICE) Speech by guest of honor, Mayor of Hamamatsu.
10:10 - 11:10 Photo Storytelling (LALAL) Photo, Video, or Presentation. They bring photos from their memories with their stories, and they will be presented to the audience. ●Hideo Toyama (Brazil) ●Fujii Eudage (Brazil) ●Fusa (Brazil) ●Mark (China) ●Ryota (Brazil) ●Hideo (Brazil) ●Hisako (Brazil) ●Hisako (Brazil) ●Hisako (Brazil)
11:10 - 11:40 Exchange and talk with the organizers (optional) A chance to share memories, discuss the past and the future of our lives for the future. There will be a refreshment break and a gift exchange at the end of the event.
WHERE: Create Hamamatsu 2nd Floor Hall
COST: FREE

V GLOBAL HAMAMATSU - AUDITÓRIO DE EVENTOS
FOTOS QUE CONTAM A MINHA HISTÓRIA - O ATUAL MOMENTO E DAQUI PARA FRENTE -
Aula de Inglês para "crianças de estrangeiros" do Ministério da Cultura de Am.Hall 2º - Hamamatsu Village City's Public Hall 2nd Fl.

(8) 特徴的な活動風景(2~3回分)

浜松に住む外国人住民が、貴重な写真とともに自らの歴史を振り返るイベントを行った。実行委員会に参加している団体から1人ずつ推薦をしていただき、計7名の方々に発表していただいた。

【内容】

- ・日本人と国際結婚をし子育てだけでなく姑の介護や看取りを行った話
 - ・母親が満州開拓団に加入した経緯から平和維持を訴える話
 - ・ブラジルで厳格に日本の伝統を守る家族で育ったためデカセギで来日した際にギャップに驚いた話
 - ・ブラジルで日系コミュニティとはほとんど無縁で過ごしたためデカセギ来日時日本語が全然わからず悔しい思いをした話
 - ・ベトナム戦争で壮絶な経験をした後、難民として来日し懸命に努力した話
 - ・デカセギの父親と一緒に過ごすために来日し、努力してヘルパー2級の資格を取り介護職として働いている話
 - ・両親に連れられて来日し、日本の学校で懸命に努力し将来は日本の小学校で教員を目指している青年の話
- など、パワーポイントを使って内容に合った写真を提示しながらスピーチを行った。

また、ホールイベント後には交流会を行い、発表者と来場者が直接語り合う場を設けた。

フォト・ストーリーテリング



高井マリーさん(フィリピン)



三井新一さん(中国)



椎木豊美マリナさん(ブラジル)



藤井ロドリゴさん(ブラジル)



山田明さん(ベトナム)



エドアルド・ルーダス・リベロさん(ペルー)



内山ワリソンさん(ブラジル)



座席を追加したほどの超満員

交流会

家族や応援団だけでなく、一般来場者も大勢集まり、会場は「笑顔」と「おしゃべり」の花が咲いていました。





(9) 取組の目標の達成状況・成果

外国人住民の見える化に成功した

グローバルフェア内のホールイベントとして行うことができ、日本語学習支援関係者以外の広く一般に外国人住民の存在を意識付けできたのが最大の成果である。市内中学校、県西部の高等学校にちらしの全生徒配布を依頼したが、教員や学生が多く来場してくれた。また、イベント直前に中日新聞夕刊に告知を交えたインタビュー記事が掲載されたのも広報効果が大きかった。

浜松市は外国人集住都市としての歴史を20数年歩んでいるが、地域を共につくる仲間として外国人を認識する市民がまだまだ多くないことが課題である。本イベントでは、外国人住民が自身の写真を使いながら人生を振り返り、日本に定住する上での苦労や努力を自らの口で語るというわかりやすい手法を使ったことにより、来場者の共感を得ることができた。また、発表を聞いた外国人来場者からは、発表者の努力を知り勇気付けられたという感想も寄せられており、非常に良い刺激になったと思う。

市民同士の交流が深まった

交流会にも想定以上の来場者が集まり、ホールイベントで行ったフォト・ストーリーテリングが多くの人の胸に響いたことがわかる。発表者は、それぞれの写真の前に立ち、家族や友人らと抱き合ったり、発表者同士で写真を撮ったりと和やかに交流を深めていた。また、来場者からの質問に答えたり、連絡先を交換したりなど、外国人住民の存在をより身近に感じるきっかけ作りに貢献できた。他都市の国際交流協会の職員からも、直接触れ合う機会がある交流会の意義を感じたとコメントが寄せられた。

発表者のエンパワメントとなり、支援者の学びにつながった

今回、発表者は支援者とペアになり、発表のための作文や資料選び、パワーポイント作成を協働で行った。大勢の人の前で、自身の歴史を、限られた時間内で、発表するためには、準備や練習が必要だが、そのことが日本語の作文や校正、発音の矯正をするきっかけにもなった。支援者にとっても、発表者に寄り添いながら話を引き出す練習となり、信頼関係の深め方等学びにつながった。また、ある発表者はこの発表について職場の理解が得られ、写真の提供だけでなく、当日花束のプレゼントを受けるなど、発表をきっかけに職場での彼の存在に大きな価値が認められる契機となった。

日本語学習支援団体間のネットワークが深まった

イベントの企画に始まり、発表者の推薦、発表内容のフォロー、当日のアテンドまで、各団体の協力が必要不可欠であったが、スケジュールの都合で一堂に会することが容易ではなかったため、メールでの情報共有を積極的に図ることにした。一つのイベントを準備の段階から協働で行うことにより、交流がおこり、団体間のネットワークが深まることとなった。

【写真で語る私の歴史 来場者アンケート集計結果】

■このイベントを何で知りましたか？

HICENEWS ……………9件
友人・知人……………14件
ホームページ……………1件
チラシ・掲示板……………8件
その他……………13件（学校、NPOフィリピン・ナガイサ、ボランティア活動時等）

■フォト・ストーリングテリングはいかがでしたか？

たいへん良い……………36件
良い……………6件
普通……………2件
あまり良くない……………0件

■フォト・ストーリングテリングの感想をお書きください。

- ★ 大変良かった。（浜松市中区 男性）
- ★ 発表者の皆さんの今までのご苦勞、努力に感動しました。自分の生き方を見直す良い機会になりました。（浜松市女性）
- ★ それぞれの外国の文化の違いが解りました。日本語の勉強の大切さも解りました。ありがとうございました（浜松市中区 フィリピン女性）
- ★ 発表者の皆さん全員素晴らしかったです。ひとり一人の歴史の重みを感じることができました。このような機会をありがとうございました。（磐田市 女性）
- ★ 初めてお話を伺いました。みなさんが前向きにコツコツがんばっていることに感動しました。何があっても、後ろを向かない、前向きであることを教えられました。（匿名）
- ★ 皆さん、大変苦勞して今があるという事がよくわかりました。（浜松市西区 男性）
- ★ スピーチの背景がよく理解できるので、大変よかったですと思います。（静岡市清水区男性）
- ★ 浜松で暮らしていらっしゃる外国人の方々は出稼ぎで来たブラジルの方が多いと思いますが、もっと多様な方々が生活していらっしゃることを知りました。そして、思っている以上に日本の社会の中で生活していらっしゃることを知りました。それぞれの文化を大切にすることと、共存することはどのように両立できるか考えさせられました。（匿名）
- ★ 日本の浜松で大変苦勞したことがよくわかる。HICEの役割がよくて、良かった。これからもご活躍を祈ります。（磐田市 男性）
- ★ 日本に来て苦勞したことや学んだことを知れてよかったです。写真を取入れながらの発表をしてくれたのでとても解りやすかったです。高井マリーさんの「死ぬまで勉強をすることをモットーに」という言葉が心に残りました。私も勉強しながら生活していきたいと改めて思いました。（高校生女子）
- ★ 色々な国からの人々の話が聞けたので良かったです。日本の文化や言葉は外国とは違うので、浜松に来たころは本当に苦勞がたくさんあったんだなと思いました。写真を見ながら話を聞けたので、とても聞きやすくて良かったです。（高校生女子）
- ★ ふだんあまり触れることのない外国のことだけど、写真と発表者の人の分かりやすい発表で外国のことがよく分かったし、日本にいる外国人が想う事、大変に思う事を知ることができた。日本に来て、日本語も達者だし、一生懸命日本で生活していて、すごいなと思った。（高校生女子）
- ★ 昔の戦争のことから、これからは平和に戦争がない国を目指すということが本当に大切だと思いました。日本語は難しく、標準語も簡単ではないのに方言も使い分けないといけないのは本当に大変なことだったろうと思いました。私たちが外国人に日本の文化を知ってもらいたいと思うように、外国人も日本にさまざまな文化を伝えようとしていることがわかりました。（高校生女子）
- ★ 苦勞の中で自分なりに努力をしてのりこえてきて今があるという事を知りました。改めて努力って素晴らしいなと感じさせられました。（高校生女子）
- ★ 色々な外国人の辛さや日本語の勉強方法がわかりました。日本語が分からなくても、一生懸命日本語のレッスンに行くと、それがすごいと思っています。（高校生女子・外国にルーツ）
- ★ どのスピーカーの方たちもとても素晴らしい人生物語を多文化理解の視点から話していただき、大変勉強になりました。私は高校の英語の教員ですが、文化を教えるむずかしさを日々感じています。このような機会に生徒を連れて参加できるともよかったです。自分の文化も他の文化も交流してみないと理解につながらないので、またこのようなイベントに参加、協力できたらと思います。（高校教員）
- ★ すごく厳しい生活をして来たんだと思いました。自分も外国人なのでその気持ちが解ります。（高校生女子）
- ★ Each p/ foreigner who came to Japan has a same problem at first, which is home sick. I was amazed by their effort to not give up. (高校生女子)

- ★ 私もしっかり足元を見なければと、再確認。(浜松市中区 男性)
- ★ 写真とともに個人の歴史が聞ける貴重な機会でした。(匿名)
- ★ 我々の知識が広く深くなりました。(浜松市中区男性)
- ★ 良い企画でした。(袋井市 男性)
- ★ 皆さん様々なことを経験し、乗り越えて今があるなあと思い、自分も頑張ろうと思いました。(浜松市南区 女性)

- ★ 感動しました。同じブラジル人として共感する部分が多くあった。発表者の皆様へお礼申し上げます。Muito obrigado!! (どうもありがとう!!) (岐阜県美濃加茂市 男性)
- ★ 皆さんすごく苦勞されていたが、共通してすごく頑張っておられた。家族のつながりが強く、皆日本になじもうと思ひ夢を持っていた。自分が少し恥ずかしく感じられました。(磐田市 男性)
- ★ 外国へ行った日本人がガンバって、その子供たちが今、日本でガンバっていることを知れて本当に良かった。(浜松市中区 男性)
- ★ 様々なストーリーがあり、大変良かったです。(匿名)
- ★ 皆様のご苦勞を理解し感動し、自分の励みにもなりました。(浜松市中区女性)
- ★ 皆さん、苦勞して日本語を一生懸命やっていたらしゃるので、私もそれに答えるよう、西、伯語をやりたいと思います。(浜松市西区 女性)
- ★ 文化や苦勞話、また講座の話など聞けて参加してみたい、話してみたいと思いました。(浜松市女性)
- ★ 大変感動しました。マリーさん、お子さんが小さい頃とても苦勞されたことを今日知りました。私はY中学校でお子さんにたくさん助けてもらいました。感謝しています。お母さん、T君、そして家族の皆さんがこれからも夢に向かって元気に暮らせますように！また、ボランティアでお会いしましょう。ありがとうございます。よろしくお祈りします。ワリソンさん、私は中学校で教員をしています。いつか一緒に働けますように。応援しています!! がんばってください!! 夢は必ず叶う!!! (浜松市中区 女性)

- ★ いいお話が聞いて良かったです。平和であること、努力すること、あきらめないこと。すべてに感謝することに頭が下がります。これからもがんばってください。(浜松市西区 女性)
- ★ いろいろ国での体験を聞き、見聞を広げることになりました。共感を持つことができました。(浜松市東区 女性 (中国文化交流会))
- ★ とてもよかったです。(女性)
- ★ それぞれの家族、本人の歴史とその背景にあった日本や各国の歴史を知りまた、思いをはせる良い機会でした。(浜松市中区 男性)
- ★ お一人、一人の人生の重みを痛感いたしました。素晴らしい企画です。(浜松市浜北区女性)
- ★ マリナさんの「日本に来てブラジルの広さを知った」という言葉が印象的でした。様々な国の人が浜松に住んでいて、その方々の背景を知ることにはなかなか機会がありません。素晴らしい企画ですね!! (匿名)

- ★ 子ども達と家族みんなで聴きました。それぞれの皆さんと日本とのつながりや、それぞれの苦勞、前向きな姿に感動し、涙、涙でした。(浜松市浜北区 女性)
- ★ 励まされました。有難う!! (匿名)

- その他お気づきの点やご要望など、ご自由にお書きください。
- ★ 来年もぜひ来たいです。
- ★ BGMの使用は難しいところですね。音楽も印象に影響するので、使用1枚という選択もあると思われます。本人がBGMを選び流すことを希望した場合は良いのですが。
- ★ 脳梗塞(今年の4月)のため、利き腕マヒの為、上手に文字や言語が不自由ですみません。静岡人間になるのに参考になりました。
- ★ 会場入り口に案内表示など無く、解に難しかった。初めて来た方は戸惑ったと思われます。10時から個別イベントの開始の告知だったが、実際にはフェア開催のセレモニーから始まった。プログラムひとつとして明示すべきと思われます。(大事なセレモニーなので)。通訳(ポ/英)があったのは良かった。発表でも、通訳が必要だったと思います。

(10) 改善点について

イベントの意義や効果については検証ができたため、今後は継続して行うための体制づくりに取り組まなければならない。予算の確保やグローバルフェアとの調整、実行委員会形式での運営について検討が必要である。また、発表者、支援者をどのように募集するか工夫が必要である。

6. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的

浜松市では、2013年3月浜松市多文化共生都市ビジョンを策定し、多様性を生かした浜松型の創造都市の実現を目指し取り組みを進めている。同ビジョンの中では、多様な文化を持つ市民が地域で暮らしていくためにはコミュニケーションが不可欠であり、また地域で暮らすための生活言語は日本語であるとの認識から、日本語学習支援の重要性がうたわれている。

(公財)浜松国際交流協会では、浜松市より委託を受け浜松市外国人学習支援センターの運営を2010年の開設以来行っている。学習者のニーズに即した日本語教室が開催できるよう、平成23年度より文化庁の委託を受け、日本語教師のスキルアップや日本語コミュニケーション能力評価基準の開発等を行い、教室内容の改善を行ってきた。また、平成25年度文化庁委託事業として、浜松版日本語コミュニケーション能力評価システム普及事業を行い、その中で地域における主要な日本語学習支援団体と、学習者の日本語能力を評価し教室活動を改善するという観点で議論を深めてきた。

本事業では、地域の日本語学習支援団体とより深く連携し、日本語学習支援に関するノウハウや日本語教室を運営する上での課題を共有するだけでなく、浜松市全体として、生活者としての外国人に必要な日本語教育について検討する。また、より一層充実した日本語教育環境を整備するために、行政と市民団体との効果的な連携についても併せて検討する。

(2) 事業目的の達成状況

各団体の開催する日本語教室の特徴や現状を共有することができた。

取組1の会議から、それぞれの団体の理念や思い、日本語教室の目的等を直接知ることができたのは大きな成果である。特に、外国人コミュニティが主催する日本語教室に求められている機能やそこに通う学習者のニーズは、担当者から詳しく話を聞くまでは知りえなかった情報である。

取組2の連携日本語教室の開催からは「多様性」の意義について学ぶことができた。行政施設のU-ToCを中心に、市内で統一的な日本語教育を進めることが学習者にとって良いことなのではないかという仮定を立てていたが、各団体の理念や体制、リソースが違うため、内容をすり合わせて活動することは困難であることがわかった。

学習者の属性や教室運営上の課題、団体の持つリソース等はそれぞれに特徴があるため、団体内で解決していくものと、社会的な課題として取り上げていくものに整理しながら、今後も連携して協議していくことが必要だと感じている。

(3) 地域における事業の効果、成果

当協会では、浜松市より委託を受け浜松市外国人学習支援センター(U-ToC)の運営を行っている。U-ToC事業の柱の一つに日本語教室の開催があるが、大規模開催の前例がなかったため平成22年1月の開設以来様々な試行錯誤を繰り返してきた。平成24,25年度には文化庁より委託を受けHAJACシステムの開発、改善を行った。HAJACインタビューテストとその評価を用いた日本語教育システムで、U-ToCの日本語教室の安定した運営ができるようになってきたことから、次の課題として地域の日本語教室とU-ToC日本語教室との連携について検討することが求められるようになってきた。

また同時期、複数の日本語学習支援団体より、文化庁委託事業の運営について相談を受けることがあった。浜松市は外国人が集住する土地柄もあり、多くの団体が文化庁の「生活者としての外国人」のための日本語教育事業を受託しているが、どの団体からも共通した課題として、人材養成事業の難しさがあがっていた。具体的には、養成内容、講師選別、集客、広報等である。特に、市域内で養成事業を行おうとしても、他団体のそれと日時やエリアが重なるため、受講者の幅広い参加が見込まれず、結局は団体内研修に留まってしまうことが課題としてあげられていた。また、事務作業の煩雑さとその量の多さについても、ボランティアで担うには相当な負担であるとよせられていた。

上記相談を受け、当協会が中間支援組織として間に入って文化庁に申請を行い、採択された際には再委託という形で事業を連携することについて、それまでに相談が寄せられた団体と協議を行うことにした。その結果、市内で日本語学習支援を行っている「にほんごNPO」と「ジャボラNPO」の2団体との連携を中心とした本事業の申請を行い、委託を受けることとなった。

上記経緯より、本事業の全ての取組において、にほんごNPOとジャボラNPOと足並みを揃え事業を実現させるための協議を重ねてきた。会議等で意見交換をする機会はこれまでもあったが一つの事業を連携して行うことは初めてだったため、互いの違いを実感し、それゆえ学ぶことが多かった。特に、当協会のような中間支援組織が、他団体、特にボランティアで構成されているNPO団体からどのように見られているか、何を期待されているか等、客観的な視点を知る良い機会になったのは間違いない。

また、これまで互いの日本語教室については表面的な情報しか得ることはなかったのだが、一緒に教室を運営することになり、団体の理念、体制、リソース、ノウハウ、所属日本語教師のスキル等、特徴が見えてきたのは大きな進歩である。

今後はお互いに想像性を持って目的を共有し、それぞれの特徴を強みとしながら連携事業に取り組んでいけるとよい。

(4) 改善点, 今後の課題について

i 現状と ii 今後の課題

日本語教師の人材育成が急務である

取組1の会議や、取組2の日本語教室開催から、日本語教師の数的不足と、地域の実情にあわせて日本語を指導する人材の質的不足が浮き彫りになった。景気の回復から、求人状況において日本語がそれほどできなくても仕事(派遣)が見つかるという状態に戻りつつあり、学習者の多くが仕事に就いている。そのため、日本語教室に通える曜日や時間帯は必然的に夜間か週末の土日に集中する。夜間開催は、仕事の影響を多大に受けることが取組2のなかで明らかとなったことから、週末の「休日」に活動できる日本語教師を確保し続ける仕組みを検討することが必要である。

また、その数的不足が要因から現在活動している日本語教師に時間的余裕がないことが見受けられた。研修時間の確保や自己研鑽の機会の提供も必要だと考える。

地域日本語教室の情報の共有化を進めることが必要

取組2の日本語教室で活動した日本語教師より、他団体の指導内容やレベルを知ることにより、学習者にとってもっと利便性のよい他の日本語教室を案内することができると提案があった。市内で活動する日本語教師がお互いの教室情報を共有することは、なにより学習者の日本語学習の継続を促すことにつながる。情報の共有化を積極的に図っていきたい。

また、そのようなコーディネーターとしての視点を日本語教師が持つことは、俯瞰的かつ客観的に日本語教育を見ることにつながり、地域で活動する日本語教師には必要な要素と考える。コーディネーターとしての研修も検討していく必要がある。

言語保障としての日本語教育と、定着支援としての日本語教育の両輪が必要

取組2の日本語教室では、日本語教育の機会を広く提供する目的のものと、対象を仕事に絞ったものを開催した。前者の教室は設定レベルを初級程度とし、後者の教室は設定レベルを中級～中上級程度とした。特に、後者の教室には日本語で仕事を行う方々が集まったが、彼らの学習ニーズは日本語をさらに上達させ職場や周囲の日本人に認められたいということである。心理学者マズローの欲求5段階説にあるように、定住が長くなるにつれ他者(特に日本人)から認められたい、尊敬されたいという思いが高まるのは自然なことだと思われる。定住が本格化する外国人に対しこれから必要な支援という観点からも、日本語教室の細分化を検討する必要があると考える。また、同時に日本社会への効果的な働きかけについても検討していく必要がある。

iii 今後の活動予定

平成26年度事業の成果と課題をふまえ、平成27年度は日本語教師の研修事業を行いたいと考える。市内の日本語教師が全体的にスキルアップすること、また研修に参加することで日本語教師同士のネットワーク化を進めていきたい。また、日本語教師がコーディネーターの視点を学ぶことで、地域に求められる日本語教育を充実させていきたい。

市内にはU-ToCをはじめ、初級レベルが学べる日本語教室は複数あるが、中級～上級を学べる日本語教室がほとんどない。定住者が日本語のスキルアップをはかり、多様な人材として認知されるような内容の日本語教育を(有料化についても)検討し開催していきたい。

(5) その他参考資料